

第7次地域保健医療計画の令和元年度取組実績

(市町・保健所)

別紙2（市町（国民健康保険及び教育委員会を含む。）、保健所）

第7次地域保健医療計画の令和元年度取組項目の実績調査票

1 脳卒中医療

（目標）

- ・ 予防・早期発見重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。
- ・ 脳卒中の予後改善を図るため、プレホスピタル・ケア（病院前救護）、急性期医療から回復期、維持期までの医療連携体制の構築を推進します。
- ・ 患者が病期に応じ、適切な治療やケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。
- ・ 埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」（以下「とねっと」という。）利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	脳卒中ハイリスク者に対する医学的管理、医療保険者による保健指導の充実	行田市	○健康相談の実施 ○健康づくりのための教室（講師：脳外科医師）の実施	○健康相談35件、糖尿病健康相談4件、合計35件実施 ○健康づくりのための教室「急げ！脳卒中～脳卒中治療の最前線～」令和2年1月8日（水）参加者31名	A	保健センター
			○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施 ○特定健診等の結果で受診勧奨値の者に対し、必要に応じ受診勧奨を実施	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援） 48名 ○特定健診等の結果において保健指導及び受診勧奨値の者に対し、必要に応じ受診勧奨及び保健指導を実施	A	保険年金課
		加須市	○特定保健指導を実施する。（動機づけ支援、積極的支援の実施）	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施（参加者327人）	B	健康づくり推進課
		久喜市	○健康相談及び栄養相談を実施する。 ○健康教育の実施 ○特定保健指導を実施する。	○保健師や栄養士等による相談を実施した。（R1延べ1,946人） ○特定保健指導を実施した。	A	中央保健センター
		蓮田市	○健康相談を実施する。 ○特定保健指導を実施する。 ○特定保健指導対象外で高血圧や脂質異常症、糖尿病等リスクの高い者に対して、健康相談を実施する。 ○特定健診結果の受診勧奨値の者に対しては、必要に応じて受診確認及び受診勧奨を実施する。	○特定健診結果配布時に医療機関から健康相談の案内を配布し定例健康相談の周知を図った。また特定健診結果で特定保健指導対象外の者へ電話による健康相談を実施した。 ・ 定例健康相談実施数 9回 60名 ・ 特定保健指導実施数 114名 ・ 特定保健指導対象外者への電話健康相談数 91件	A	健康増進課
		幸手市	○特定保健指導実施時、高血圧、高脂血症、高血糖、肥満傾向のある人に生活習慣の見直しなどの保健指導を実施する。 ○成人健康相談等で健康相談を実施する。 ○所内栄養相談等で栄養相談を実施する。	○特定保健指導実施時、健診受診結果から受診勧奨値の者に対し、受診勧奨を実施 ○成人健康相談の実施 14回 延べ30人 ○所内栄養相談 6回 延べ8人	A	健康増進課
		宮代町	○特定保健指導を実施する。	○特定保健指導を84名（積極的：4名 動機付け：80名）に実施した。	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）を実施する。	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施（162人）	A	健康支援課 町民課
		幸手保健所	○保険者、事業所、健診機関等の関係者を対象とした会議や研修会の開催	○健康づくり・食育連絡会議の開催し、情報共有・情報交換を実施（5/28 11人） ○効果的な保健指導を実施するためライフスタイル改善プログラム「SILE」に関する研修会を開催（9/4 39人）	A	保健予防 推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークなどの連携体制の促進	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」が持つ救急現場での患者情報参照機能等について、医療機関、消防機関及び住民への普及啓発を行い、利用を促進する。	○市ホームページに掲載するとともに、防災訓練等で、「とねっと」の救急面での活用についてPRを行い、普及啓発に努めた。	B	医療体制 推進課
		羽生市	○「とねっと」の普及啓発を図る。	市窓口等に「とねっと」に関する配布物一式を設置し来庁者へPR。また啓発用のぼり旗を設置するなどし普及啓発を図った。	A	健康づくり 推進課
		加須保健所	○東部北地区救急医療対策協議会及び小児救急医療部会合同会議において、各医療機関及び消防機関との連携を図る	○R1.9.30 令和元年度東部北地区救急医療対策協議会及び小児救急医療部会合同会議 29名出席	A	総務・地域 保健推進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への啓発及び情報提供	加須市	○埼玉県救急医療情報センター、埼玉県医療機能情報提供システム及び夜間・休日における市内在宅当番医等の情報を、広報紙、ホームページ等で情報提供する。 ○市内各病院事務長との「加須市内病院事務連絡会」において、意見交換や情報の共有を図る。	○毎月発行の「市報かぞ」や市公式ホームページに埼玉県救急医療情報センター、埼玉県医療機能情報提供システム及び夜間・休日等における市内在宅当番医等の情報を掲載し、市民に情報提供した。 ○加須市内各病院事務長との「加須市内病院事務連絡会」において、意見交換や情報の共有を図った。	A	医療体制推進課
		加須保健所	○医療機能情報提供システムを活用し、住民に対して、必要な医療機関、医療機能等の情報提供を推進する。	○医療機能情報システムによる医療機能等の情報提供の推進（依頼件数264、提出件数263、進捗率 99.6%）	A	総務・地域保健推進担当
		幸手保健所	○医療機能情報システムによる、住民に対しての必要な医療機関、医療機能等の情報提供の推進	○医療機能情報提供システムによる医療機能等の情報提供の推進（依頼件数453、提出件数397、進捗率87.6%）	A	総務・地域保健推進担当

2 糖尿病医療

（目標）

- ・ 特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、生活習慣の改善を図り、糖尿病予防に努めます。
- ・ 糖尿病性腎症重症化予防対策を推進します。
- ・ 早期診断された患者の合併症予防のために、標準的な糖尿病教育プログラムが受けられるような医療機関を増やします。
- ・ 「とねっと」利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。
- ・ 地域の管理栄養士等のスキルアップと指導の標準化を図るため、市町、医師会が協力して地域として糖尿病教育の質が向上するような研修会を実施します。

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	行田市	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施 48名	A	保険年金課
		加須市	○人工知能を活用し未受診者への受診勧奨を実施 ○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施 ○特定保健指導対象外で高血圧や脂質異常症、糖尿病等リスクの高い者に、健康相談を実施 ○特定健診結果の受診勧奨値の者に、必要に応じて受診確認又は受診勧奨を実施	○人工知能を活用し未受診者への受診勧奨を実施した（4回）。 ○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）を実施した（327人）。 ○特定保健指導対象外で高血圧や脂質異常症、糖尿病等リスクの高い者に、健康相談を実施した。 ○特定健診結果の受診勧奨値の者に、必要に応じて受診確認又は受診勧奨を実施した（3人）。	A	健康づくり推進課
		羽生市	○受診勧奨2回実施 ○市庁舎ほか公共施設、実施医療機関に特定健康診査等受診勧奨用ポスターを掲示 ○福祉健康まつり、東部地区共同での受診勧奨PRを実施	○受診勧奨2回実施（8月、10月） ○市庁舎ほか公共施設、実施医療機関に特定健康診査等受診勧奨用ポスターを掲示 ○福祉健康まつり、東部地区共同での受診勧奨PRを実施（啓発品配布）	A	国保年金課
			○健診啓発用ポロシャツの着用、公民館等への健診啓発用のぼり旗の設置	○健診啓発用ポロシャツの着用、公民館等へ健診啓発用のぼり旗の設置	A	健康づくり推進課
		久喜市	○特定保健指導対象者への案内通知を送付する。 ○特定保健指導の未利用者に対し、電話、訪問、郵便等による利用勧奨を実施する。 ○保健指導従事者の資質向上のため、研修会へ参加する。	特定保健指導対象者への案内通知を送付（1,066件）。 未利用者に対して、電話、訪問、郵便などによる利用勧奨を実施しました（502件）。 職員の資質向上のため、研修会に参加した。	A	中央保健センター

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	久喜市	<ul style="list-style-type: none"> ○未受診者へ受診勧奨ハガキを送付。 ○過去5年間不定期受診をしている40歳代・50歳代の未受診者にアドバイスシートによる受診勧奨を実施。 ○本庁および各支所にて、のぼりや受診啓発スローガンの設置より受診啓発を実施。 ○本庁および各支所、保健センター、実施医療機関に、特定健診案内ポスターを掲示。 ○特定健診実施期間である6月～11月まで、国民健康保険課職員が週1回特定健診PR用ポロシャツを着用し、特定健康診査の受診啓発を行う。 ○啓発品（ポケットティッシュ）を作成し、本庁等窓口や健康食育まつり等で配布するとともに受診勧奨を実施。 ○特定健康診査実施医療機関に、治療中の方への受診勧奨の協力依頼を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○未受診者へ9月に受診勧奨ハガキ（24,981通）を送付。 ○11月に過去5年間不定期受診をしている40歳代・50歳代の未受診者にアドバイスシート（926通）による受診勧奨を実施。 ○本庁および各支所にて、のぼりや受診啓発スローガンの設置より受診啓発を実施。 ○本庁および各支所、保健センター、実施医療機関に、特定健診案内ポスターを掲示。 ○特定健診実施期間である6月～11月まで、国民健康保険課職員が週1回特定健診PR用ポロシャツを着用し、特定健康診査の受診啓発を行った。 ○啓発品（特定健診PR入りポケットティッシュ6,000個）を作成し、本庁等窓口や健康食育まつり等で配布するとともに受診勧奨を実施。 ○特定健康診査実施医療機関に、治療中の方への受診勧奨の協力依頼を行った。 	A	国民健康保険課
		蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診の結果で医療が必要と思われる者に対し、受診勧奨を実施する。 ○特定保健指導対象者に対しては、実施率が向上するよう案内通知等の工夫や電話や訪問等による利用勧奨を実施する。 ○特定保健指導対象外で保健指導が必要な者に対して、健康相談等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診結果で受診勧奨値の者に対して、電話による健康相談を実施し重症化の予防に努めた。また、特定保健指導の実施率が向上するよう利用勧奨の充実を図った。 ・特定保健指導対象外者への電話健康相談数91件 ・特定保健指導対象者へのはがき及び電話による利用勧奨を実施 ・特定保健指導の利用申込のなかった者に対し再度別日程の案内通知を送付 	A	健康増進課
		幸手市	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診（集団健診）受診者に結果説明会を行い、保健指導対象者には初回面接を実施し、それ以外の受診者には専門職種による情報提供を行い、必要に応じて受診勧奨や健康相談・栄養相談・健康教室事業への参加を勧める。 ○特定保健指導の未利用者に対して、通知、電話等による利用勧奨を実施する。 ○庁舎内や公用車に特定健診の受診勧奨のポスターなどの掲示を行い、受診者数向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診（集団健診）の受診者に対し、結果説明会を実施し、必要に応じて受診勧奨や健康相談・健康教育を案内した。2,896人 ○特定保健指導の未利用者に対して、健診結果郵送とともに通知で利用勧奨を実施した。 ○庁舎内や公用車に特定健診の受診勧奨のポスターなどの掲示を行い、受診者数向上を図った。 ○集団健診は土日を開催するとともに、がん検診と同時実施をした。年20日（うち土日4日） 	A	保険年金課 健康増進課
		白岡市	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健康診査を受診しやすい環境を整える。 ○特定健診未受診への受診勧奨はがきを送付 ○特定健診の周知啓発活動の実施 ○特定保健指導対象者に個別通知と電話による受診勧奨 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健康診査の自己負担無料化し、受診しやすい環境を整えた。 ○特定健診未受診への受診勧奨はがきを送付（3回延べ11,686件） ○特定健診の周知啓発活動の実施（健康まつり等でのPR、民間事業者によるチラシ配布等） ○特定保健指導対象者に個別通知と電話による受診勧奨（340人） 	A	保険年金課
		宮代町	<ul style="list-style-type: none"> ○特定保健指導において案内通知や電話による利用勧奨を行う。 ○対象者に沿った特定保健指導を実施する。 ○集団特定健診を受診した40代の方に、検査結果に沿った情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○通知や電話による利用勧奨を行い、84名に特定保健指導を行った。 ○集団健診を受診した40代53名に、リーフレットによる生活改善のための情報提供を行った。 	A	健康介護課 健康増進担当
		宮代町	<ul style="list-style-type: none"> ○町内の個別健診実施医療機関にのぼり・ポスターを配布して、特定健診をPRする。 ○集団健診の予約開始前に、全対象者に受診予約の勧奨通知を送付した。 ○新40歳及び、集団健診を未申込みの方で受診に繋がりそうな方を抽出し、受診勧奨通知を送付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○町内の個別健診実施医療機関にのぼり・ポスターを配布し、特定健診をPRした。 ○集団健診の予約開始前に、全対象者に受診予約の勧奨通知を送付した。（5,990名） ○新40歳及び、集団健診を未申込みの方で受診に繋がりそうな方を抽出し、受診勧奨通知を送付した。（4,543名） 	A	住民課 国保・後期担当

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> ○集団健診は土・日も開催するとともに胃がん検診、肺がん検診、大腸がん、前立腺がんと同時に実施することにより、受診しやすい環境を整える。 ○受診者の利便性を考慮し、町内指定医療機関で個別健診を実施する。 ○受診勧奨はがきを発送する。 ○41歳になる対象者に無料クーポン券を配付する。 ○集団健診の結果相談会で、特定保健指導の対象者には初回面接を行い、利用率の向上を図る。 ○近隣市町及び東部地区における特定健診受診勧奨促進合同キャンペーンに参加して特定健診のPRを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○集団健診は土・日も開催するとともに胃がん検診、肺がん検診、大腸がん、前立腺がんと同時に実施（14日間 受診者1,416人） ○町内指定医療機関で個別健診を実施（11医療機関 7か月間 受診者1,489人） ○受診勧奨はがき発送（12,240通） ○41歳になる対象者に無料クーポン券を配付（100人） ○集団健診の結果相談会で、特定保健指導の対象者には初回面接を実施。（162人） ○近隣市町及び東部地区における特定健診受診勧奨促進合同キャンペーンに参加して特定健診のPRを実施（2回） 	A	健康支援課 町民課
		加須保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診・特定保健指導担当者等を対象とした研修会、会議の開催。 	保健所管内健康課題対策会議の実施（10/1、12人参加）	A	保健予防 推進担当
		幸手保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○保険者、事業所、健診機関等の関係者を対象とした会議や研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康づくり・食育連絡会議の開催し、情報共有・情報交換を実施（5月28日 11人） ○効果的な保健指導を実施するためライフスタイル改善プログラム「SILE」の研修会を開催（9月4日 39人） 	A	保健予防 推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	糖尿病性腎症重症化予防対策の実施	行田市	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉県及び埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である「糖尿病性腎症重症化予防対策プログラム」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施（受診勧奨、保健指導） 勧奨により受診 28名、保健指導 8名 継続支援保健指導 7名 	A	保険年金課
		加須市	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムを実施した。（16名に対して保健指導実施） 	B	国保年金課
		羽生市	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉県国民健康保険団体連合会と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施（受診勧奨・保健指導・継続支援） 	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉県国民健康保険団体連合会と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施（通知書発送数 受診勧奨：51件・保健指導：24件・継続支援：11件） 	A	国保年金課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉県方式として国保連と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施する（受診勧奨・保健指導） 	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉県方式として国保連と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施した。111人に受診勧奨通知を発送、うち99人に受診勧奨電話を実施。また、869人に保健指導案内通知を発送し、うち53人に保健指導を実施し、その中で46人が修了した。 	A	国民健康 保険課
		蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病性腎症重症化予防対策事業について、未受診者への受診勧奨と通院患者の保健指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施した。 ①受診勧奨：4名 ②保健指導：19名 	A	健康増進課
		幸手市	<ul style="list-style-type: none"> ○「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に参加 ○特定健診要受診者への受診勧奨の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病性腎症重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムを6ヶ月実施（6人参加） ○特定健診受診結果から受診勧奨値の者に対し、受診勧奨を実施 	A	保険年金課 健康増進課
		白岡市	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉県及び埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業「糖尿病性腎症重症化予防対策プログラム」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉県及び埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業「糖尿病性腎症重症化予防対策プログラム」の実施（受診勧奨42人、保健指導1人、継続支援1人） 	B	保険年金課
		宮代町	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施。 ○対象者の範囲を広げることを目的とし、近隣市町（杉戸町・春日部市・幸手市）と連携して事業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施し、10名に保健指導を実施、24名に受診勧奨を実施した。また、受診勧奨後も未受診の方に対し、訪問して受診勧奨を行った。 ○対象者の範囲を広げることを目的とし、近隣市町（杉戸町・春日部市・幸手市）と連携して事業を実施した。（保健指導該当者なし） 	A	住民課 国保・ 後期担当
		杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施する。 ○対象者の範囲を広げることを目的とし、近隣市町（宮代町・春日部市・幸手市）と連携して事業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施（受診勧奨4人 保健指導0人 継続支援2人） ○対象者の範囲を広げることを目的とし、今年度も近隣市町（宮代町・春日部市）と連携して事業を実施 	A	町民課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	糖尿病患者の教育プログラムの充実	行田市	○糖尿病健康相談の実施	○ 糖尿病健康相談4件	A	保健センター
		加須市	○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムを実施する。	○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムを実施した。（16名に対して保健指導実施）	B	国保年金課
		久喜市	○健康相談及び栄養相談を実施し、重症化予防を図る。	食生活改善推進員協議会と協力し生活習慣病予防講座を2回実施した。保健師や栄養士による健康相談を実施した。	A	中央保健センター
		蓮田市	○糖尿病性腎症重症化予防事業の通院患者の保健指導については、かかりつけ医と情報共有を行い事業を実施する。 ○市民健康講座にて、糖尿病予防を含む内容の講座を実施する。 ○健康相談にて、糖尿病患者の重症化予防を図る。	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業 ①受診勧奨：3名 ②保健指導：14名 ○市民健康講座 血管げんき教室：61名 ○定例健康相談 実施回数 9回 60名 糖尿病についての相談者 8名	A	健康増進課
		幸手市	○健康相談・栄養相談等での保健・栄養指導の実施 ○特定健診受診結果から受診勧奨値の者に対し、受診勧奨を実施 ○糖尿病性腎症重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムの実施	○健康相談・栄養相談等での保健・栄養指導を実施 ○特定健診受診結果から受診勧奨値の者に対し、受診勧奨を実施 ○糖尿病性腎症重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムを6ヶ月実施（6人参加）	A	保険年金課 健康増進課
		宮代町	○集団特定健診においてHbA1c値が基準以上であった方に、改善に向けた教室を開催する。	○血糖コントロール教室を25名（延べ63名）に実施した。	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施する。 ○対象者の範囲を広げることを目的とし、近隣市町（宮代町・春日部市・幸手市）と連携して事業を実施する。	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施（受診勧奨4人 保健指導0人 継続支援2人） ○対象者の範囲を広げることを目的とし、今年度も近隣市町（宮代町・春日部市）と連携して事業を実施	A	町民課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	「とねっと」の推進	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の連携パス機能について、医療機関等への普及啓発を行い、利用を促進する。	○「とねっと」の協議会総会や協議会だよりを通じて、医療機関等に連携パス機能の利用を呼びかけるなどし、普及・啓発に努めた。	B	医療体制推進課
		羽生市	「とねっと」を普及啓発し、利用促進を図る。	市窓口等に「とねっと」に関する配布物一式を設置し来庁者へPR。また啓発用のぼり旗を設置するなどし普及啓発を図った。	A	健康づくり推進課
		久喜市	○「とねっと」の周知・啓発を図るため、チラシを作成し、保健センターにおいて実施している乳幼児健診（4か月）の際に配布を依頼する。 ○職員の「とねっと」加入を促進するため、職員掲示板に加入依頼を掲載する。 ○広報に「とねっと」参加の啓発文を掲載する。	○「とねっと」を活用した医療連携を市民に周知するため、市ホームページや広報などで「とねっと」普及啓発を実施した。 ○令和元年9月14日に開催された救急フェスタの「とねっと」ブースにおいて、「とねっと」の加入促進を目的とした広報活動を実施した。 ○「とねっと」の周知・啓発を図るため、チラシを作成し、保健センターにおいて実施している乳幼児健診時に配布した。	A	健康医療課
		蓮田市	○構成市町のひとつとして、取り組みに参画する。	○市のホームページに「とねっと」の利用について掲載し、利用の促進を図った。	B	健康増進課
		幸手市	○「とねっと」による中核病院や専門医療機関と地域のかかりつけ医の医療連携の推進と、市民への普及啓発の実施	○埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会への参加 総会1回、作業部会3回、行政会議6回 ○「とねっと」普及啓発 広報さつて5月号、幸手市ホームページ、健康環境カレンダー掲載 ○「とねっと」 参加者4,002人、市内参加医療機関30施設	A	健康増進課
		宮代町	○「とねっと」について情報提供や周知を実施し普及を図る。	○とねっとのPRを目的に構成する各市町とともに3月に令和2年度の地域医療ネットワークシンポジウムを白岡市で開催する予定であったが新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。	B	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○「とねっと」による医療連携の推進と、町民への普及啓発を実施する。	構成市町のひとつとして取組に参画するとともに、広報や窓口、乳幼児健診時等において「とねっと」の普及啓発を実施した。	A	健康支援課
		加須保健所	○地域医療ネットワークワークシステム「とねっと」を活用した医療連携体制の支援に努める。	利根保健医療圏医療連携推進協議会総会（10/14）、利根地域医療連携連絡協議会（7/21, 11/13）に出席	A	総務・地域保健推進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	糖尿病治療及び保健指導を担う専門職のスキルアップ	行田市	○研修会等の参加	研修参加なし	C	保健センター
		加須市	○各種研修会に参加し、保健指導従事者の資質の向上を図る。	○保健指導従事者の資質の向上を図るため、各種研修会に参加した。	A	健康づくり推進課
		久喜市	○保健指導従事者の資質向上のため、研修会へ参加する。	職員の資質向上のため、研修会に参加した。	A	中央保健センター
		蓮田市	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	○糖尿病性腎症重症化予防事業にて、通院中の方の保健指導については、かかりつけ医と情報共有を行った。	A	健康増進課
		幸手市	○各種研修に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	○研修会等に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図った ・生活習慣病対策検診・保健指導に関する企画・運営・技術研修(2日間)への参加 1回 ・KDB等データの読み解きと活用に関する研修会 1回 ・データヘルス推進に係る全体研修会 1回 ・令和元年度国民健康保険調整交付金（保健事業）の活用に向けた説明会及び特定健康診査受診率等向上のための意見交換会 1回	A	健康増進課
		白岡市	○各種研修に参加し保健指導従事者の資質の向上に努める。	○各種研修に参加し保健指導従事者の資質の向上に努めた。	A	保険年金課
		宮代町	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	○資質向上のため、研修会等へ参加した。	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	○各種研修会（栄養士協議会研修会、勉強会等）に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図った。	A	健康支援課
加須保健所	○保健指導従事者を対象としたスキルアップ研修会の開催	・働く人の健康づくり支援研修会の実施(1/27、35人参加) ・糖尿病性腎症重症化予防研修会の実施(2/14、26人参加)	A	保健予防推進担当		

3 在宅医療の推進

（目標）

- ・ 患者が安心して在宅医療を受けられるように、包括かつ継続的な医療提供体制を推進します。
- ・ 医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、歯科衛生士、介護支援専門員（ケアマネジャー）、介護職員など医療と介護の多職種が連携したチームで、患者・家族をサポートする体制を推進します。
- ・ ICTを活用して医療・介護に関する様々な情報を医師、看護師、介護職員など医療と介護の各職種間で共有し、安心・安全なサービスを効率的に提供します。
- ・ 「とねっと」利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。
- ・ 地域の病院や有床診療所とかかりつけ医との連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	在宅療養を支援する連携体制の推進	行田市	○医療、介護職の関係団体より選出し、行田市在宅医療・介護連携推進協議会及び作業部会（入退院調整・研修・患者情報共有ICT・普及啓発・病院有床）を設置し、連携に関する様々な解決策を継続的に検討。 入退院時調整ルール作成、療養ノート（わたしの人生ファイル）の配布、MCS普及、市民への広報発行、研修実施 ○多職種の顔の見える関係づくりとして合同意見交換会を継続実施予定 ○介護資源マップの管理、更新 ○機能強化型地域包括支援センター、行田市在宅医療支援センターを設置し、在宅療養の相談、医療職・介護職からの在宅医療、介護に関する相談窓口を継続設置 ○三師会・市、機能強化型地域包括支援センター、在宅医療支援センターとのミーティング継続	○行田市在宅医療・介護連携推進協議会1回開催、作業部会（入退院調整・研修・患者情報共有ICT・普及啓発・病院有床）を設置し、連携に関する様々な解決策を継続的に検討。 ①入退院調整部会0回（入退院調整手引きの運用開始のため開催なし） ・高齢者が入院、退院する際に、医療・介護関係者の適切な情報提供・連携により、在宅や施設からの入院や退院後の在宅復帰を円滑に行うことを目的とした手引きを作成し、運用。 ②患者情報共有・ICT部会3回 ・在宅にて医療・介護の様々なサービスを受けている高齢者に関わる多職種が、患者情報の共有を目的に、そのための連携ツールである療養ノート「わたしの人生ファイル」を作成。行田市在宅医療支援センターとともにMCSの普及、利用促進を図った。 ③研修部会4回 ・医療・介護の連携に資する研修（全4回）を実施。 ④普及啓発部会0回（前年度に実施内容を調整済みのため開催なし） ・部会開催はないが、広報誌「行田人」の発行（年3回）により、地域の高齢者を支えるための医療・介護関係者の様々な取組を紹介し、普及啓発を図った。 ※病院有床部会0回（常設ではなく、必要に応じ開催） ○多職種の顔の見える関係づくりとして合同意見交換会（1回）及び研修会（療養ノート及び口腔ケア等について全4回）開催 ○介護資源マップの管理、更新（事業所の内容更新） ○機能強化型地域包括支援センター、行田市在宅医療支援センターを設置し、在宅療養の相談、医療職・介護職からの在宅医療、介護に関する相談を受けている。 ○三師会・市、機能強化型地域包括支援センター、在宅医療支援センターとのミーティングを2か月に1度、偶数月に開催 ○療養ノート及びMCSの普及啓発のための紹介VTRを製作。	B	高齢者福祉課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	在宅療養を支援する連携体制の推進	加須市	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療・介護連携推進委員会の開催 ○ICT「北彩あんしんリング」の普及 ○医療・介護関係者への研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療・介護連携推進委員会の開催（3回） ○北彩あんしんリングへの登録機関数〔市内〕（59機関） ○医療・介護関係者への研修の実施（2回） 	B	高齢者福祉課
		羽生市	<ul style="list-style-type: none"> ○北埼玉医師会へ在宅医療・介護連携推進事業を加須市と共同委託（委託事業） ・北埼玉在宅医療連携室の設置・運営 ・在宅医療・介護関係者の情報共有支援（ICTの普及促進含む） ・多職種研修の開催 ○在宅医療・介護連携推進会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○北埼玉へ在宅医療・介護連携推進事業を加須市と共同委託（委託事業） ・北埼玉在宅医療連携室の設置・運営 ・在宅医療・介護関係者の情報共有支援の実施（ICT周知活動） ・多職種研修の開催（10月5日） ○在宅医療・介護連携推進会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の中止 	A	高齢介護課
			○「とねっと」を活用した情報共有及び医療連携の推進	「とねっと」の普及啓発を図り、かかりつけ医との連携強化に努めた。	A	健康づくり推進課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> ○久喜市在宅医療・介護連携推進会議の開催 ○久喜市・蓮田市・白岡市・宮代町の三市一町による協定に基づく事業連携 ○在宅医療サポートセンターの設置 ○医療機関と訪問看護ステーションとの連携会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○久喜市在宅医療・介護連携推進会議を7月、11月の2回開催した（当初予定していた第3回についてはコロナウイルス拡大防止のため書面開催）。 ○三市一町による協定に基づき南埼玉郡市医師会に在宅医療サポートセンターの業務を委託し、関係機関や市民の相談窓口として活動を行いながら、関係機関の連携の場を作り、医療・介護連携の推進を図った。 	A	高齢者福祉課
		蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> ○多職種が連携して在宅医療・介護を推進できるように在宅医療連携ガイドの追加・更新をする。 ○「蓮田市、白岡市及び宮代町在宅医療・介護連携推進事業の共同実施に関する協定書」に基づき、在宅医療・介護関係者連携会議及び研修会を開催し、現場レベルでの多職種協働を推進する。 ○南埼玉郡市医師会管内で、「医療機関、訪問看護ステーションとの連携会議」を開催し、切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築に向けた検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療・介護資源実態調査を実施し、在宅医療連携ガイドを作成・公表した。 ○在宅医療・介護関係者を対象とした連携会議を3回、研修会を3回開催し、現場レベルでの多職種協働を推進した。 ○南埼玉郡市医師会管内で「医療機関、訪問看護ステーションとの連携会議」を4回開催し、切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築に向けた検討を行った。5回目は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが居宅介護支援事業所に医療連携に関するアンケート調査を実施し、切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築に向けた検討のための実態を把握した。 	A	在宅医療介護課
		幸手市	<ul style="list-style-type: none"> ○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 ○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施（北葛北部医師会へ委託） ○幸手市、杉戸町での共同実施における協定を締結し事業を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 2回 ○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施 ・在宅医療・介護マップの情報を更新しホームページに掲載 ・ケアカフェ（在宅医療・介護連携推進研修会）の実施 5回 ・ICTシステム普及に向けたキャラバン活動 ・アドバンスケアプランニング（ACP）に関する研修 2回 ・介護支援専門員研修 1回 ・市民のつどいの開催 1回、参加者103人 ・事例検討会議（地域包括ケア会議）の実施 12回 ・シームレスな入退院支援に向けた情報交換会 2回 ・入退院支援研修会 1回 ・地域まるごと電話相談 303件 ・住民向けパンフレットの作成と広報の発行 8回 ・サロン等での健康相談（暮らしの保健室）19ヶ所 ・暮らしの保健室運営者等の多職種カンファレンス 11回 ・住民主催の地域ケア会議の開催 3回 ・ピアサポートの会 3回 	A	介護福祉課
白岡市	<ul style="list-style-type: none"> ○南埼玉郡市医師会へ在宅医療・介護連携推進事業を久喜市、蓮田市、宮代町と共同委託。在宅医療サポートセンターを設置・運営し、相談支援等を行うほか、医療機関・訪問看護ステーション連携会議の開催、情報共有シートやMCSといった情報共有の支援、地域住民への普及啓発等を行う。 ○地域の医療機関や介護事業所等の情報収集を行った医療介護連携ガイドの追加・修正を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○南埼玉郡市医師会へ在宅医療・介護連携推進事業を久喜市、蓮田市、宮代町と共同委託。在宅医療サポートセンターを設置・運営し、相談支援等を行うほか、医療機関・訪問看護ステーション連携会議の開催、情報共有シートやMCSといった情報共有の支援、地域住民への普及啓発等を行った。（相談件数延べ116件、連携会議3回延べ97人） ○地域の医療機関や介護事業所等の情報収集を行った医療介護連携ガイドの追加・修正を行った。（令和元年度版を令和2年3月に発行） 	A	高齢介護課		

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	在宅療養を支援する連携体制の推進	宮代町	<ul style="list-style-type: none"> ○多職種連携会議の開催 ○地域包括支援センター・看護師・ケアマネ等を対象にした研修会の開催 ⇒二市一町（蓮田市・白岡市・宮代町）共同事業 ○在宅医療サポートセンターの設置 ○医療機関、訪問看護ステーションとの連携会議開催 ⇒三市一町（久喜市・蓮田市・白岡市・宮代町）共同事業 ○多職種連携が「ト」の追加修正 	<ul style="list-style-type: none"> ○多職種連携会議の開催を開催（3回） ○地域包括支援センター・看護師・ケアマネ等を対象にした研修会を開催（3回） ○在宅医療サポートセンターの設置（年間を通して設置） ○医療機関、訪問看護ステーションとの連携会議開催（2回） ○多職種連携が「ト」の追加修正 	A	健康介護課 高齢者支援担当
		杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> ○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 ○介護保険における地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施 ○杉戸町・幸手市での共同実施における協定を締結し事業を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 2回 ○介護保険における地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護マップの情報を更新しホームページに掲載 ・ケアカフェ（在宅医療・介護連携推進研修会）の実施 5回 ・事例検討会議（地域包括ケア会議）の実施 12回 ・入退院支援研修会 1階 ・ICTシステム普及に向けたキャラバン活動 ・サロン等での健康相談（暮らしの保健室）22ヶ所 ・地域まるごと電話相談 303件 ・アドバンスケアプランニング（ACP）に関する研修 2回 ・ケアマネ研修会 1回 ・入退院支援意見交換会 2回 ・市民のつどいの開催 1回、参加者103人 ・暮らしの保健室運営者等の多職種カンファレンス 11回 ・住民向けパンフレットの作成と広報の発行 8回 ・ピアサポートの会 3回 	A	高齢介護課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	患者・家族を支える多職種協働の推進	行田市	<ul style="list-style-type: none"> ○医療、介護職の関係団体より選出し、行田市在宅医療・介護連携推進協議会及び作業部会（入退院調整・研修・患者情報共有ICT・普及啓発・病院有床）を設置し、連携に関する様々な解決策を継続的に検討 入退院時調整ルール作成、療養ノート（わたしの人生ファイル）の配布、MCS普及、市民への広報発行、研修実施 ○多職種の顔の見える関係づくりとして合同意見交換会を継続実施予定 ○介護資源マップの管理、更新 ○機能強化型地域包括支援センター、行田市在宅医療支援センターを設置し、在宅療養の相談、医療職・介護職からの在宅医療、介護に関する相談窓口を継続設置 ○三師会・市、機能強化型地域包括支援センター、在宅医療支援センターとのミーティング継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○行田市在宅医療・介護連携推進協議会1回開催、作業部会（入退院調整・研修・患者情報共有ICT・普及啓発・病院有床）を設置し、連携に関する様々な解決策を継続的に検討。 ①入退院調整部会0回（入退院調整手引きの運用開始したため開催なし） <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が入院、退院する際に、医療・介護関係者の適切な情報提供・連携により、在宅や施設からの入院や退院後の在宅復帰を円滑に行うことを目的とした手引きを作成し、運用。 ②患者情報共有・ICT部会3回 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅にて医療・介護の様々なサービスを受けている高齢者に関わる多職種が、患者情報の共有を目的に、そのための連携ツールである療養ノート「わたしの人生ファイル」を作成。行田市在宅医療支援センターとともにMCSの普及、利用促進を図った。 ③研修部会4回 <ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護の連携に資する研修（全4回）を実施。 ④普及啓発部会0回（前年度に実施内容を調整済みのため開催なし） <ul style="list-style-type: none"> ・部会開催はないが、広報誌「行田人」の発行（年3回）により、地域の高齢者を支えるための医療・介護関係者の様々な取組みを紹介し、普及啓発を図った。 ※病院有床部会0回（常設ではなく、必要に応じ開催） ○多職種の顔の見える関係づくりとして合同意見交換会（1回）及び研修会（療養ノート及び口腔ケア等について全4回）開催 ○介護資源マップの管理、更新（事業所の内容更新） ○機能強化型地域包括支援センター、行田市在宅医療支援センターを設置し、在宅療養の相談、医療職・介護職からの在宅医療、介護に関する相談を受けている。 ○三師会・市、機能強化型地域包括支援センター、在宅医療支援センターとのミーティングを2か月に1度、偶数月に開催 ○療養ノート及びMCSの普及啓発のための紹介VTRを製作。 	B	高齢者福祉課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> ○久喜市在宅医療・介護連携推進会議の開催 ○在宅医療・介護関係者研修会の開催 ○医療機関と訪問看護ステーションとの連携会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○久喜市在宅医療・介護連携推進会議を年2回開催。在宅医療・介護関係者研修会についても、2回開催し、多職種連携の推進を図った。 ○南埼玉郡市医師会（在宅医療サポートセンター）に一部事業委託し、医療機関と訪問看護ステーションとの連携会議を8月と12月に開催し、体制の構築を図ってきた。 	A	高齢者福祉課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	患者・家族を支える多職種協働の推進	幸手市	○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 ○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施（北葛北部医師会へ委託） ○幸手市、杉戸町での共同実施における協定を締結し事業を推進する。	○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 2回 ○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施 ・在宅医療・介護マップの情報を更新しホームページに掲載 ・ケアカフェ（在宅医療・介護連携推進研修会）の実施 5回 ・ICTシステム普及に向けたキャラバン活動 ・アドバンスケアプランニング（ACP）に関する研修 2回 ・介護支援専門員研修 1回 ・市民のつどいの開催 1回、参加者103人 ・事例検討会議（地域包括ケア会議）の実施 12回 ・シームレスな入退院支援に向けた情報交換会 2回 ・入退院支援研修会 1回 ・地域まるごと電話相談 303件 ・住民向けパンフレットの作成と広報の発行 8回 ・サロン等での健康相談（暮らしの保健室）19ヶ所 ・暮らしの保健室運営者等の多職種カンファレンス 11回 ・住民主催の地域ケア会議の開催 3回 ・ピアサポートの会 3回	A	介護福祉課
		白岡市	○蓮田市、宮代町と在宅医療・介護連携推進の共同事業として在宅医療・介護関係者連携会議及び研修会を行う。	○蓮田市、宮代町と在宅医療・介護連携推進の共同事業として在宅医療・介護関係者連携会議（3回、延べ224人）及び研修会（3回延べ222人）を行った。	A	高齢介護課
		杉戸町	○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 ○介護保険における地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施 ○杉戸町・幸手市での共同実施における協定を締結し事業を推進する。	○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 2回 ○介護保険における地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施 ・在宅医療・介護マップの情報を更新しホームページに掲載 ・ケアカフェ（在宅医療・介護連携推進研修会）の実施 5回 ・事例検討会議（地域包括ケア会議）の実施 12回 ・入退院支援研修会 1階 ・ICTシステム普及に向けたキャラバン活動 ・サロン等での健康相談（暮らしの保健室）22ヶ所 ・地域まるごと電話相談 303件 ・アドバンスケアプランニング（ACP）に関する研修 2回 ・ケアマネ研修会 1回 ・入退院支援意見交換会 2回 ・市民のつどいの開催 1回、参加者103人 ・暮らしの保健室運営者等の多職種カンファレンス 11回 ・住民向けパンフレットの作成と広報の発行 8回 ・ピアサポートの会 3回	A	高齢介護課
		幸手保健所	○難病対策地域協議会の開催	○難病対策地域協議会（1/16 19人）	A	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	ICTによる在宅医療・介護連携ネットワークシステムの推進	行田市	○MCS普及	行田市在宅医療支援センターとともにMCSの普及、利用促進を図った。	B	高齢者福祉課
		加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した情報共有及び医療連携の推進	○埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会の総会、作業部会、システムWG会議、行政会議で地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した、多職種間の連携や情報共有等について協議を進めた。	B	医療体制推進課
			○医療・介護関係者による「北彩あんしんリング」を活用した効率的な在宅療養者情報の共有の推進	○医療・介護分野の多職種が「北彩あんしんリング」により情報を共有し、医療や介護を提供している在宅療養者（市民）の数（R2.3.31現在） 29人	A	高齢者福祉課
		羽生市	○「とねっと」の普及啓発を図り、かかりつけ医と中核病院の連携を強化する。	「とねっと」の普及啓発を図り、かかりつけ医との連携強化に努めた。	A	健康づくり推進課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	ICTによる在宅医療・介護連携ネットワークシステムの推進	蓮田市	○在宅医療・介護連携ネットワークシステムのメディカルケアステーションについて、地域の医療・介護関係者に情報提供、周知、普及啓発、実務研修を行う。南埼玉郡市医師会管内の4市町が南埼玉郡市医師会に委託して実施する。 ○在宅医療・介護関係者連携会議作業部会において、メディカルケアステーションの具体的な運用方法について検討し、実施する。	○在宅医療・介護連携ネットワークシステムのメディカルケアステーションについて、委託先の南埼玉郡市医師会が、管内4市町の介護事業所を対象に情報提供、周知、普及啓発として研修を実施した。 ○蓮田市介護支援専門員研修会において在宅医療・介護連携ネットワークシステムのメディカルケアステーションについて研修し情報提供、周知、普及啓発を図った。 ○在宅医療・介護関係者連携会議作業部会において、メディカルケアステーションの普及啓発・研修について検討。7回開催。その中で介護支援専門員研修会における研修内容についても検討した。	A	在宅医療 介護課
		幸手市	○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業においてICTシステムの普及を推進（北葛北部医師会への委託） ○幸手市、杉戸町での共同実施における協定を締結し事業を推進する。	○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業においてICTシステムの普及を推進 ・ICTシステム普及に向けたキャラバン活動 MCSの普及に向けて、市内医療機関と介護事業所を訪問して、具体的な周知と導入について説明するキャラバンを実施	A	介護福祉課
		白岡市	○蓮田市、宮代町と在宅医療・介護連携推進の共同事業として在宅医療・介護関係者連携会議作業部会を設置し、MCSについて普及啓発や具体的運用について検討する。	○蓮田市、宮代町と在宅医療・介護連携推進の共同事業として在宅医療・介護関係者連携会議作業部会を設置し、MCSについて普及啓発や具体的運用について検討した。（作業部会8回、延べ59人） 10月10日に白岡市介護支援専門員研修会で普及啓発を実施。（参加者48人）	A	高齢介護課
		宮代町	○医療・介護連携ネットワークシステムのメディカルケアステーションに関する情報提供・周知・普及啓発を図るとともに、実務研修を行なう。	○医療・介護連携ネットワークシステムのメディカルケアステーションに関する情報提供・周知・普及啓発を行った。実務研修を開催した（1回）。	A	健康介護課 高齢者支援 担当
		杉戸町	○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業においてICTシステムの普及を推進する。 ○杉戸町、幸手市での共同実施における協定を締結し事業を推進する。	○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業においてICTシステムの普及を推進 ・ICTシステム普及に向けたキャラバン活動 MCSの普及に向けて、町内医療機関と介護事業所を訪問して、具体的な周知と導入について説明するキャラバンを実施	A	高齢介護課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	地域完結型医療の推進	行田市	○行田市医師会による主治医（開業医）副主治医（総合病院）制の実施	○市内特別養護老人ホーム（1件）にて実施。	B	高齢者福祉課
		加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の普及啓発に努め、かかりつけ医と中核病院の連携を強化し、地域完結型医療を推進する。	○市報かぞや市ホームページ等を活用し、「とねっと」の普及啓発とともに地域完結型医療の推進に努めた。	B	医療体制 推進課
		久喜市	○限られた医療資源を有効に活用できるよう、市、市民、医療機関等の3者が一体となって、地域医療を考え、推進していくため、地域医療フォーラムを開催する。 ○地域医療の充実を図ることを目的に設置された久喜市地域医療推進協議会を開催し、医師や歯科医師、市民、有識者等から幅広いご意見をいただきながら、地域完結型医療を進めていく。	○「とねっと」の活用による医療連携の推進を図ることにより、地域完結型医療の推進を図った。 ○令和2年1月18日、ふれあいセンター久喜において「地域医療フォーラム」を開催した。内容は2部構成の講演会で、第1部では埼玉東部消防組合救急課長に「限りある医療資源の有効活用に向けて」を、第2部では新久喜総合病院院長に「地域の救急医療をみんなで守るために ～新久喜総合病院の取り組み～」をテーマに講演をしていただき、それぞれの立場から地域の医療に対する意見を述べていただいた。 ○令和元年10月21日に地域医療推進協議会を開催し、久喜市の医療等の現状及び課題を議論した。	A	健康医療課
		幸手市	○「とねっと」による中核病院や専門医療機関と地域のかかりつけ医の医療連携の推進と、市民への普及啓発の実施	○埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会への参加 総会1回、作業部会3回、行政会議6回 ○「とねっと」普及啓発 広報さつて5月号、幸手市ホームページ、健康環境カレンダー掲載 ○「とねっと」 参加者数4,002人、市内参加医療機関30施設	A	健康増進課
		杉戸町	○「とねっと」による中核病院と地域のかかりつけ医の医療連携と、町民への普及啓発を実施し、地域完結型医療を推進する。	広報や窓口、乳幼児健診時等において「とねっと」の普及啓発と加入者増に努めた。	A	健康支援課
		加須保健所	○埼玉県在宅医療提供体制充実支援事業等を活用して、医療情報の共有による地域完結型医療の推進を支援する。	引続き医療情報を共有し、地域完結型医療の推進を支援した。	A	総務・地域 保健推進担当
		幸手保健所	○利根地域保健医療・地域医療構想協議会の開催	○利根地域保健医療・地域医療構想協議会の開催（R1.8.7 30委員出席、R1.11.19 26委員出席、R2.3.18 書面開催）	A	総務・地域 保健推進担当

4 健康づくり対策

(目標)

- ・ 栄養・食生活、運動、喫煙などの生活習慣に関する正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。
- ・ 健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進め、個人の健康づくりの取組を積極的に支援します。
- ・ ロコモティブシンドロームやサルコペニアの認知度を高め、低栄養や筋力低下の予防を推進します。
- ・ 特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、的確な保健指導を着実に実施します。

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	行田市	○健康づくりのための教室、出前講座の実施 ○健康づくりチャレンジポイント事業の実施 ○健康相談の実施 ○健幸案内所にて健康に役立つ情報の周知 ○熱中症おたすけ隊の養成	○「健康レシピ認定店」の周知 リフレット配布（約1500部） ○健康講座の実施（27回 延参加者数685人） ○健康相談の実施（35件） ○市民けんこう大学（13回 延参加者数161人） ○市民けんこう大学院（13回 延参加者数83人） ○熱中症おたすけ隊の養成 ○出前講座の実施（33回 延参加者数1434人） ○健康づくりチャレンジポイント事業の実施（399人） ○健幸案内所にて健康に役立つ情報の周知	A	保健センター
			○市内各団体を通じた特定健診受診の普及活動の実施 ○けんこうまつりでの特定健診のPRの実施 ○特定健診、特定保健指導の広報やポスター等による受診啓発を実施	○民生・児童委員へ特定健診の普及啓発の実施 ○健康まつりにて特定健診のPR（152人） ○市役所内、市内公共施設（21か所）、医療機関（21か所）、調剤薬局（25か所）へポスター及びチラシを配布し受診啓発を実施	A	保険年金課
		加須市	○生活習慣病予防講座の開催：医師出前（CKD、糖尿病等）、運動、栄養、歯の講座 ○人工透析者の分析 ○健康手帳の交付、新40歳への郵送と周知 ○かぞ健康マイレージの実施 ○健康相談の実施	○生活習慣病予防講座の開催：医師出前（CKD、糖尿病等）、運動、栄養、歯の講座（延べ人数10,548人） ○人工透析者の分析 ○健康手帳の交付、新40歳への郵送と周知（5,097人） ○各地域のまつり会場でのアルコールパッチテストの実施（405人） ○かぞ健康マイレージの実施（613人） ○健康相談の実施（重点健康相談19回、総合健康相談206回）	A	健康づくり推進課
		羽生市	○特定健診・特定保健指導の広報による啓発 ○特定健診初回受診者及び早期受診者へ記念品の贈呈による啓発 ○特定健診実施医療機関以外の健診結果情報提供者へ記念品の贈呈による啓発 ○運動教室の開催	○特定健診・特定保健指導の広報による啓発（5月） ○特定健診初回受診者及び早期受診者へ記念品の贈呈による啓発（初回：14件、早期：79件） ○特定健診実施医療機関以外の健診結果情報提供者へ記念品の贈呈による啓発（46件） ○運動教室の開催（延べ154人） ○株式会社タニタヘルスリンクによる生活習慣病予防に関する講座の開催（参加者70人）	A	国保年金課
			○生活習慣病予防のための各種健康教育講座を開催 ○出前講座の開催 ○羽生市健康チャレンジ事業の実施	○健康教育講座参加者 510人 ○出前講座（健康長寿サポーター養成講座）参加者30人 ○健康チャレンジ事業の実施	A	健康づくり推進課
		久喜市	○高齢者に対し健康教育・健康相談を実施	久喜地区でいきいき温泉久喜、民間デイサービス、愛宕会館、菖蒲地区で蒲老人福祉センター、栗橋地区ではつらつ運動教室、鷺宮地区でふれあいサロンにて延べ923人の参加者に健康相談を実施した。	A	高齢者福祉課
			○各種健康教育・健康相談を実施する。 ○食育セミナー、健康づくり・食育推進大会等における普及・啓発を行う。	運動教室や生活習慣病予防講座等の健康教育を実施した（延7,136人参加）。食生活に関する講座・啓発は食生活改善推進員協議会に一部業務委託し食育・生活習慣病予防講座等を実施した（全38講座、延1,103人）。また保健師や栄養士等による健康相談（延1,946人）を実施した。食育セミナーや健康づくり・食育推進大会において、パネル展示を掲示し、健康に関する普及・啓発を行った。	A	中央保健センター

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	蓮田市	○市民健康講座を実施する。 ○各団体から依頼を受け、出向いて実施する出前健康相談、出前健康講話にて、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発を図る。 ○食生活改善推進員協議会活動を通じた、食生活の正しい知識の普及を図る。	○市民健康講座を実施した。 ・女子力アップ～骨盤&乳ケア～ 4回 83名 ・血管げんき教室 3回 61名 ○出前健康相談実施数 22回 478名 ○出前健康講話実施数 22回 489名 ○食生活改善推進員協議会が、伝達講習会において生活習慣病予防食の調理実習を実施 12回154名	A	健康増進課
		幸手市	○高血圧予防講座 ○ヘルシークッキング（野菜をおいしく摂取する） ○骨粗鬆症予防講座 ○運動教室 ○乳がん・子宮がん・骨粗鬆症検診受診者に健康講話を実施 ○健康マイレージの実施 ○健康長寿サポーターの養成 ○出前講座	○高血圧症予防教室 2回×1コース 延べ42人 ○カルシウムUP料理教室 18人 ○ヘルシークッキング教室 12人 ○運動教室 9回×2コース 延べ264人 ○骨粗しょう症検診後健康教室 8回 延べ90人 ○乳子宮がん・骨粗しょう症・複合検診受診者に健康講話を実施 21回 延べ2,112人 ○健康マイレージ参加者 1,584人 ○健康長寿サポーター養成講座の実施 養成人数75人 ○出前講座 7回 110人	A	健康増進課
		白岡市	○健康相談・栄養相談の実施 ○健康体操教室の実施 ○健康講座・健康教室の実施 ○出前講座の実施 ○健康まつりの実施 ○健康長寿サポーター養成講座の実施 ○健康マイレージの実施	○健康相談・栄養相談の実施（11回 101人） ○健康体操教室の実施（10回 300人） ○健康講座・健康教室の実施（4回 67人） ○出前講座の実施（1回 127人） ○健康まつりの実施（白岡まつりと共同開催 504人） ○健康長寿サポーター養成講座の実施（1回 10人） ○健康マイレージの実施（参加登録者 631人）	A	健康増進課
			○小学校4年生及び中学校1年生を対象として、小児生活習慣病予防健診を実施	小学校4年生（428人）及び中学校1年生（429人）を対象に、小児生活習慣病予防健診を実施した。	A	教育指導課
		宮代町	○健康教室を実施する。 ○健康相談、栄養相談を実施する。 ○集団特定健診時に、健康に関する媒体を展示し、生活習慣に関する助言や個別相談を実施する。 ○みやしろ健康マイレージ事業を実施する。	○健康教育事業を34回、963名に実施した。 ○栄養相談を15名に実施した。 ○集団特定健診（7日間）栄養ブースを設け、受診者に対し媒体を用いて生活習慣に関する助言や栄養相談（9名）を実施した。 ○みやしろ健康マイレージ事業に2,385名が参加した。	A	健康介護課 健康増進担当
			○健康ステーション事業の実施	○楽しく笑いながら体操し、健康への取組みの行動変容を促す講演会「己抄呼の笑う体操！」を実施し125名が参加した。	A	住民課 国保・後期担当
		杉戸町	○特定健診受診者及び健康づくりに関心のある町民を対象に、生活習慣病のリスクを減らすことを目的として、医師及び歯科医師による医療講演会を実施し、正しい知識の普及啓発を図る。 ○健康への関心と検診の動機付けを目的に健康フェスタを開催する。 ○集団健康教育を実施する。 ○管理栄養士による生活習慣病予防のための健康教育および個別栄養相談を実施する。 ○食生活改善推進員協議会による各種料理教室を開催する。 ○健康長寿のまちづくりの推進役を育成するため「すぎと健康アカデミー」を開校する。 ○埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加し、町民の健康づくりを支援する。	特定健診受診者及び健康づくりに関心のある町民を対象に、生活習慣病のリスクを減らすことを目的として、医師及び歯科医師による医療講演会を実施し、正しい知識の普及啓発を図った。 ○健康への関心と検診の動機付けを目的に健康フェスタを開催した。 ○集団健康教育を実施 延101回 延参加者数1,821人 ○管理栄養士による生活習慣病予防のための健康教育および個別栄養相談を実施した。 ○食生活改善推進員協議会による各種料理教室を開催した。 ○健康長寿のまちづくりの推進役を育成するため「すぎと健康アカデミー」を開校した。 修了生 23人 ○埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加し、町民の健康づくりを支援した。 歩数計参加人数 866人 スマートフォンアプリ参加人数 71人 ○健康長寿サポーター養成講座を実施した。 4回 42人 ○がん検診サポーター養成講座を実施した。 1回 13人	A	健康支援課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	加須保健所	○各種団体や給食施設等を通じて健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及を図る ○健康長寿計画を推進するため「健康長寿サポーター」養成講座を実施	・管内食改リーダー研修会の実施(8/23、60人参加) ・調理師研修会(11/28、30人参加) ・給食施設研修会(6/14、51人参加) ・健康長寿サポーター養成講座(3回、87人)	A	保健予防推進担当
		幸手保健所	○給食施設指導や健康長寿サポーター養成講座等を通じた健康づくりの啓発普及の実施	○給食施設や個人に対し衛生管理や栄養管理指導、災害時対応、受動喫煙防止等に関する研修会を実施した(6月4日・6月6日・9月20日・12月9日・令和2年2月13日・2月19日 257施設) ○健康長寿サポーター養成講座を実施(12月4日31人)	A	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進	行田市	○禁煙外来治療助成事業の実施 ○禁煙サポーター薬局設置事業の実施 ○肺の健康づくり教室の実施 ○集団がん検診において、肺の禁煙モデルや肺がんと喫煙に関する内容のパネルの設置、チラシ、ポスターの配布と掲示 ○「空気も美味しいお店」認定事業の実施	○禁煙外来治療助成事業の実施(登録者33人 禁煙達成者12人) ○禁煙サポーター薬局設置事業の実施(13薬局 256人) ○肺の健康づくり教室の実施「肺がんの診療～最新の進歩～」(1回 参加者数24人)	A	保健センター
		加須市	○令和元年7月1日から市のすべての公共施設の敷地内禁煙を施行	○令和元年7月から市のすべての公共施設の敷地内禁煙を施行した。また、受動喫煙のリスクを広報紙等で周知した。	A	健康づくり推進課
		羽生市	○受動喫煙防止に関する広報等を介した普及・啓発	・R2.4月受動喫煙防止全面施行に向け、公共施設管理課へ対策を推進するための働きかけを実施した。 ・商工会議所を通じ商工会会員に対し、埼玉県作成の啓発リーフレットを配布した。 ・市広報、HPに掲載した。	A	健康づくり推進課
		蓮田市	○たばこが健康に与える害について、機会をとらえて普及啓発していく。	○庁内掲示版にて、公共施設の敷地内禁煙について周知をした。 ○公共施設に敷地内禁煙に関する掲示物を掲示した。 ○市広報に受動喫煙防止に関する情報を掲載し、たばこが健康に与える害について普及啓発を図った。	A	健康増進課
		幸手市	○特定健診保健指導における喫煙リスクの周知及び禁煙支援の実施 ○母子手帳交付及びパパママ教室など母子関係事業において、喫煙や受動喫煙リスクについて周知する。	○特定健診保健指導における喫煙リスクの周知及び禁煙支援の実施 ○母子手帳交付時及びパパママ教室など母子関係事業において、喫煙や受動喫煙のリスクについて周知した。	A	健康増進課
		白岡市	○受動喫煙防止の啓発	○受動喫煙防止の啓発を行った。 (なし梨キャンペーンポスター作成、駅での啓発ティッシュの配布等)	B	健康増進課
		杉戸町	○受動喫煙防止を推進するため、広報・ホームページ等で普及啓発を行う。 ○世界禁煙デー及び禁煙週間等の機会に、受動喫煙対策に関する普及・啓発を行う。 ○母子手帳交付時や訪問の際に、喫煙や受動喫煙リスクについて周知を図る。	○受動喫煙に関する情報について、広報・ホームページ等で普及啓発を行った。 ○世界禁煙デー及び禁煙週間等の機会に、ポスターを掲示する等、受動喫煙対策に関する普及・啓発を行った。 ○母子手帳交付時や訪問の際に、喫煙や受動喫煙リスクについて情報提供し、周知を図った。	A	健康支援課
		加須保健所	○受動喫煙防止対策の推進を図る ○受動喫煙防止対策実施施設認証制度を普及する	・関係団体等にリーフレットの配布等を行い普及・啓発を図った。 ・研修会などの機会をとらえて説明を行い普及を図った。	B	保健予防推進担当
		幸手保健所	○受動喫煙防止対策実施施設認証制度の対応	新たな受動喫煙防止対策実施施設等認証制度について周知啓発した。敷地内禁煙施設数(35施設)屋内禁煙施設(37施設) また、一般住民向けに同制度の周知及び職場における禁煙・受動喫煙対策に関する研修会を開催した。89人	A	保健予防推進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	民間企業や地区組織などと連携した健康増進計画の推進	行田市	○大塚製薬、ファイザー、上野村と当センターで協定を結び市民の健康づくりに協働で取り組んでいる。 ○その他の民間企業にも協力していただき健康づくりを推進している。	○大塚製薬、上野村と協定を締結し、講師の派遣等健康づくりに協働で取り組んだ。（5回 延参加者数 269人） ○その他の民間企業の協力による健康づくりの推進（1回 延参加者数54人）	A	保健センター
		加須市	○第2次加須市健康づくり推進計画は、平成28年3月に策定済である。 同計画を計画的に実施し、地区組織の代表者や関係団体等の幅広い参画を得て、加須市健康づくり推進委員会を開催し、平成30年度に実施した事業について委員からの意見を頂き、評価する。	○健康づくり推進委員会において、健康づくり推進計画に位置付けられた平成30年度の事業を評価し、75%が順調又は概ね順調と評価され、市民の健康づくりに寄与した。 ○「埼玉一の健康長寿のまち」推進部会の市民委員が参加する7つのワーキンググループを延べ27回開催し、市民が参加しやすい事業への工夫等について議論した。また、ワーキンググループごとに市民への啓発活動を実施した。	B	健康づくり推進課
		羽生市	○羽生市健康づくり推進協議会を開催し、第2次羽生市健康づくり計画に基づいて実施した事業について、ご意見をいただき評価を行う。	羽生市健康づくり推進協議会を開催し、第2次羽生市健康づくり計画に基づいて実施した事業の平成30年度実績報告及び令和元年度取り組み目標について意見をいただいた。	A	健康づくり推進課
		久喜市	○久喜市健康増進・食育推進会議、庁内連絡会議、庁内連絡会議作業部会を開催し、関係機関との連携を図りながら、第2次久喜市健康増進・食育推進計画を推進する。	久喜市健康増進・食育推進会議、庁内連絡会議、庁内連絡会議作業部会を開催し、関係機関との連携を図りながら、第2次久喜市健康増進・食育推進計画を推進した。また食育セミナーや健康づくり・食育推進大会において、学校や企業と連携しパネルを展示したり、イベントブースを設けるなど、健康や食育に関する普及・啓発を行った。	A	健康医療課
		蓮田市	○健康増進計画「健康はすだ21（第2次）」の推進を図るため健康づくり推進員の育成、支援を行う。また、健康づくり推進員連絡会議を開催し、各関係機関の連携を図り、健康づくり活動を地域に広げるための環境づくりを進める。 ○健康増進計画「健康はすだ21（第2次）」の中間見直しをし、改訂版の策定をするため、会議にて健康実態調査結果をもとに新たな目標値や方針について検討する。	○健康づくり推進員連絡会議7回 延べ140名 健康づくり推進員連絡会議理事会7回 延べ34名 ○食育推進員連絡会議 4回 延べ50名 食育推進員連絡会議理事会 2回 延べ8名 ○健康増進計画「健康はすだ21（第2次）改定版・蓮田市食育推進計画」に基づき、重点プロジェクトに関するリーフレットを作成し、全戸配布した。健康づくり・食育推進の実践につながる情報をあらゆる機会をとらえて市民に発信した。	A	健康増進課
		幸手市	○健康日本21幸手計画（第3次）の推進を図るため、各関係機関の連携を図り、健康づくり推進会議を開催し、推進委員からの意見を反映しながら進行管理を行う。	○健康づくり推進会議 3回	A	健康増進課
		白岡市	○白岡市健康増進計画及び白岡市食育推進計画の推進を図るため、各関係団体と連携し、はぴすイッチ会議（健康づくりに関係する団体の代表者と公募市民で構成）を開催する。関係団体及び関係課が実施する活動や施策の進捗状況の確認や評価、会議委員からの意見を反映しながら計画を策定し、進行管理を行う。	○はぴすイッチ会議の開催（5回） ○健康づくりに関係する関係団体及び関係課が実施する活動や施策の進捗状況の確認や評価、会議委員からの意見を反映しながら進行管理を行った。また、市民や関係機関のニーズ調査・分析等を実施し、第2次しらおかはぴすイッチプラン（第2次健康増進計画・第2次食育推進計画・第1次自殺対策計画）を策定した。	A	健康増進課
		加須保健所	○各種団体や給食施設等（事業所等）を通じて健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及を図る ○健康長寿計画を推進するため「健康長寿サポーター」養成講座を実施	・調理師研修会（11/28、30人参加） ・健康長寿サポーター養成講座（3回、87人）	B	保健予防推進担当
		幸手保健所	○地域の栄養関係団体の活動支援、情報提供等の実施 ○市町の健康増進計画・食育推進計画策定や推進に対する支援	○地域活動栄養士会「彩栄」と連携し活動支援、情報提供を実施した（4月11日・5月9日・7月11日・10月7日・1月9日・3月12日延べ27人） ○食生活改善推進員協議会の総会及び会長会議へ参加（7回167人） ○市町健康増進計画・食育推進計画策定支援を行った（7回）	A	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	生活習慣病の早期発見、早期治療と的確な保健指導の推進	行田市	○薬局を拠点とした健康づくり支援事業の実施。（糖尿病予防検体測定事業）	○糖尿病予防検体測定事業（13箇所の薬局 256件）	A	保健センター
			○特定健診の受診勧奨、特定保健指導の利用勧奨の実施 ○人間ドック等の受検費用に対する助成	○特定健診受診勧奨の実施：ハガキ及び電話による受診勧奨の実施（ハガキ 3回、電話 延べ 6591名） ○特定保健指導の利用勧奨：（再勧奨通知 146件、電話 125名） ○人間ドック等の検査費用助成 延べ 901名	A	保険年金課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	生活習慣病の早期発見、早期治療と的確な保健指導の推進	加須市	○特定保健指導の該当者に対し、特定保健指導の実施。該当の方には結果返却時に特定保健指導の案内を渡し利用を促す。申込みのない方には利用勧奨の案内を再通知として行う。 ○加須保健センター地域の会場で、集団で特定健診を受診した方のうち特定保健指導の該当になった方には、健診結果を取りに来ていただき、その時に特定保健指導を実施する。 ○特定健康診査の結果、特定保健指導の該当にならない60歳代の方に対し、生活習慣病予防の講座を実施。	○特定保健指導の該当者に対し、特定保健指導の実施。該当の方には結果返却時に特定保健指導の案内を渡し利用を促す。申込みのない方には利用勧奨の案内を再通知として行う。（対象者731名、参加者327名） ○加須保健センター地域の会場で、集団で特定健診を受診した方のうち特定保健指導の該当になった方には、健診結果を取りに来ていただき、その時に特定保健指導を実施する。（結果説明会5回実施） ○特定健康診査の結果、特定保健指導の該当にならない60歳代の方に対し、生活習慣病予防の講座を実施。（対象者329名、参加者13名）	B	健康づくり推進課
		羽生市	○特定健康診査、特定保健指導の実施 ○特定健康診査の受診勧奨と特定保健指導対象者の指導勧奨 ○人間ドック等の助成（国保、後期高齢者医療加入者） ○後期高齢者の健康診査の実施	○特定健康診査（3,724件）、特定保健指導の実施（申込数：58件） ○特定健康診査の受診勧奨（8月・10月（2回））と特定保健指導対象者の指導勧奨（通知書発送数：360件） ○人間ドック等の助成（国保：547件、後期高齢者医療加入者：104件） ○後期高齢者の健康診査の実施（2,816件）	A	国保年金課
			○基本健康診査の実施により早期発見を行う。基本健康診査において、指導対象者へのアプローチを行う。 ○健康相談・栄養相談を実施	○基本健康診査（受診者：253人） ○指導対象者へ生活改善リーフレットを送付17名 ○健康相談・栄養相談参加者延15人	A	健康づくり推進課
		久喜市	○生活保護受給者等の健康診査を実施する。健診結果により、必要な者に保健指導を実施する。 ○がん検診を実施する。要精密検査者に対して、精密検査の受診勧奨を実施する。 ○特定保健指導を実施する。	○生活保護受給者等の健康診査を実施した。（受診者数63人） ○胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、乳がん、子宮がん検診を実施した。（がん検診受診者数：41,225人）また、精密検査者に対して、受診勧奨を行った。 ○特定保健指導を実施した。	A	中央保健センター
			○市内小学校4年生全児童を対象とする小児生活習慣病予防健診を実施する。	○市内小学校4年生全児童を対象に小児生活習慣病予防健診を実施した。（受診者数1,203人）	A	学務課
		蓮田市	○出前健康相談で健康チェックを実施する。 ○定例の健康相談を実施する。 ○特定健診、後期高齢者健診、健康増進法による健診を実施する。 ○特定保健指導を実施する。 ○特定保健指導対象外で保健指導が必要な者に対しては、健康相談、健康講座等を実施する。	○出前健康相談実施数 22回 478名 ○健康相談実施数 9回60名 ○特定健診受診者数 4,300名（費用決済数） ○後期高齢者健診受診者数 3,068名（費用決済数） ○健康増進法による健診受診者数 7名 ○特定保健指導実施数 114名 ○特定保健指導対象外者への電話健康相談数 91件	A	健康増進課
		幸手市	○特定健診・保健指導の実施 ○高齢者健診の実施 ○健康増進法における住民健診（主に生活保護受給者対象）の実施 ○健康相談・栄養相談の実施	○特定健診・保健指導の実施 受診率42.8%、保健指導実施率19.9% ○高齢者健診の実施 2,160人 ○住民健診 17人 ○健康相談・栄養相談での保健・栄養指導の実施、健康相談14回延べ30人、栄養相談6回延べ8人。	A	健康増進課 保険年金課
		白岡市	○特定健診・特定保健指導の実施 ○総合健診（人間ドック）の実施	○特定健診・特定保健指導の実施（特定健診6月～12月、受診者2,866人、特定保健指導利用者127人） ○総合健診（人間ドック）の実施（受診者669人）	A	保険年金課
		宮代町	○特定保健指導の実施 ○後期高齢者の健康診査の実施 ○生活保護受給者等の健康診査及び検診結果により保健指導の実施	○特定保健指導を84名（積極的：4名 動機付け：80名）に実施した。 ○後期高齢者の健康診査を個別（6月～11月）と集団健診7日間にて実施。 ○生活保護受給者等に対して健康診査を10名実施。	A	健康介護課 健康増進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	生活習慣病の早期発見、早期治療と的確な保健指導の推進	杉戸町	○杉戸町国保加入者に対する特定健診および20歳～39歳に対する国保健診を実施する。 ○特定健診にe-GFR値の検査項目を導入し、慢性腎疾患対策を実施する。 ○杉戸町国保加入者に対する特定健診受診者のうち動機付け、積極的支援のものを対象として、結果相談会を実施する。 ○健康相談の実施（毎週金曜日） ○健康教育の実施	○杉戸町国保加入者に対する特定健診および20歳～39歳に対する国保健診を実施（受診者103人） ○特定健診にe-GFR値の検査項目を導入し、慢性腎疾患対策を実施（受診者2,905人） ○杉戸町国保加入者に対する特定健診受診者のうち動機付け、積極的支援のものを対象として、結果相談会を実施（162人） ○健康相談の実施（毎週金曜日）（電話相談は随時） 延236人 ○健康教育の実施 延101回 延参加者数 1,821人	A	健康支援課 町民課
		加須保健所	○保健指導担当者の資質向上を目的として研修会を開催する	・働く人の健康づくり支援研修会の実施(1/27、35人参加) ・糖尿病性腎症重症化予防研修会の実施(2/14、26人参加)	A	保健予防 推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	地域、学校等における食育等の推進	行田市	○歯科食育講座の実施 ○出前講座の実施	○歯科・食育講座「親子で歯ッピー！元気のキホンを学ぼう」開催参加者延べ26名	B	保健センター
		加須市	○市立各小・中学校における栄養教諭等と連携した食育指導の推進 ○郷土料理・地場産物の活用 ○加須版コミュニティースクール（リンクミーティング）を活用した、保・幼・小・中における一貫性のある食育の推進	○市立各小・中学校での栄養教諭と連携した、授業実践、調理実習、給食試食会等の実施（通年） ○郷土料理・地場産物を活用した給食メニューの提供（通年） ○中学校区でのリンクミーティングにおける食育推進についての情報共有（年3回）	B	学校教育課
		加須市	○親と子の食育事業（学童のための栄養学習）の実施 ○スローフードレシピの作成と周知	○親と子の食育事業（学童のための栄養学習）の実施（参加者の延べ人数179人） ○スローフードレシピの作成と市ホームページ等で周知した（作成したレシピ数49）	B	健康づくり 推進課
		羽生市	○食育に関する知識の普及 ○地域の郷土料理や伝統料理の普及・継承	○食育に関する知識の普及・伝達 ○地域の郷土料理や伝統料理等、調理実習を伴った普及・継承 ○親子おやつ作り教室 参加者13人 ○親子でお魚クッキング教室 参加者19人 ○こども郷土料理体験教室 参加者15人	A	健康づくり 推進課
			○栄養教諭による授業実施 ○学校給食センターの小中学校訪問 ○全小学校での給食時放送による意識向上	○全小・中学校において栄養教諭による授業を実施（14校） ○全小・中学校において給食センター職員の学校訪問を実施（14校） ○全小学校において給食時放送による意識向上の実施（14校）	A	学校教育課
		久喜市	○学校給食の予定献立表や給食だよりの配布等を通じて、正しい食生活の知識の普及・啓発を行う。 ○地場産農産物を積極的に使用するとともに行事食、郷土料理、伝統料理などを採り入れた献立を実施し、給食を通して食べ物や生産者に対して感謝する心を育むとともに、地域の食材や地域性などへの理解を深める。	○児童生徒の家庭に予定献立表及び給食だよりを月1回（合計10回）配布した。また、予定献立表及び給食写真をホームページに掲載した。 ○地場産農産物を使用した学校給食を提供した。（R1年度久喜市産野菜年間使用量52.4トン、使用割合22.3%）（久喜市産米年間使用量86.2トン、使用割合100%） ○行事食、郷土料理、伝統料理などを採り入れた献立を作成し、生きた教材として学校給食を提供した。また献立のねらい等を学校や家庭に周知した。 ○生産者と児童生徒の交流給食を行った。（年4回）	A	学校給食課
		蓮田市	○健康づくり推進員連絡会議・地域食生活支援推進連絡会を開催し、新規で「蓮田市食育推進計画」を策定し、地域、学校における食育の推進を図る。	○健康づくり推進員連絡会議・食育推進員連絡会議を開催し、「蓮田市食育推進計画」を推進した。重点プロジェクト（みんなで野菜を食べよう）を推進するために、食育推進員からお勧め野菜のレシピを提供してもらい取りまとめをし、レシピの活用方法、周知方法等について検討した。	A	健康増進課
		幸手市	○市内小学校に小児生活習慣病予防のための食育講話を実施	○市内小学校に小児生活習慣病予防のための食育講話を実施(9校実施、560人参加)	A	健康増進課
白岡市	○各栄養教室において、食に関する正しい知識と望ましい食習慣等の普及啓発を行う。	○各栄養教室において、食に関する正しい知識と望ましい食習慣等の普及啓発を行った。	B	健康増進課		

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	地域、学校等における食育等の推進	白岡市	○彩の国ふるさと学校給食月間の実施 ○栄養教諭による食育の授業実施	○彩の国ふるさと学校給食月間は、6月と11月の2回実施した。 ○栄養教諭は、総合的な学習の時間等に授業に参加し、指導した。	A	教育指導課
		宮代町	○栄養教諭による食育の授業実施	○各学校の実情に合わせて栄養指導を実施。 対象：小学校（全学年）、中学校（1.2年生） 授業回数：各クラス年1回 学年に合わせた内容の栄養指導を行っており、イラストやクイズ方式にするなど関心を持つ工夫をしている。 小1…宮代町の給食について 小2…野菜について 小3…カルシウムの働きについて 小4…3つの食品のグループ分けについて 小5…おやつのとりに方について 小6…朝食について 中1…魚の栄養について 又は 食事バランスガイドの活用について 中2…生活習慣病の予防について	A	教育推進課
			○親子料理教室の実施	○食育に関する講話及び調理実習を親子10組、24名に実施した。	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○関係課と連携し、杉戸町食育担当者会議を開催する。 ○一般住民を対象とした食育講演会を実施する。	○関係課と連携し、杉戸町食育担当者会議を開催した。 ○一般住民を対象とした食育講演会を実施した（参加人数35人）。	A	健康支援課
		加須保健所	○管内各市の健康増進・食育推進計画の推進を支援する ○食の安全及び食品（栄養）表示に関する知識の普及を図る	・管内栄養・健康づくり担当者会議に実施（年2回） ・各市健康増進・食育推進会議検討会議への参加 ・食品表示研修会の実施（2回、42人参加）	B	保健予防 推進担当
		幸手保健所	○地域の栄養関係団体の活動支援、情報提供等の実施 ○給食施設指導を通じた施設における食育推進状況の把握 ○市町の健康増進計画・食育推進計画策定や推進に対する支援	○地域活動栄養士会「彩栄」と連携し活動支援情報提供を実施した（4月11日・5月9日・7月11日・10月7日・1月9日・3月12日延べ27人） ○食生活改善推進員協議会の総会、会長会議へ参加（7回延べ167人） ○市町健康増進計画・食育推進計画策定支援を行った（7回）	A	保健予防 推進担当

5 親と子の保健対策

（目標）

- ・ 親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会を目指します。
- ・ 不妊・不育症に関する支援を進めます。
- ・ 乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎ、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。
- ・ 関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	不妊に関する治療費等への支援や専門相談等の推進	行田市	○早期不妊検査費助成事業の実施 ○不妊治療費助成事業の実施 ○不育症検査費助成事業の実施	○早期不妊検査費助成事業 8件 助成額計160,000円 ○不妊治療費助成事業の実施 28件 助成額計 2,483,017円 ○不育症検査費助成事業 2件 助成額計40,000円	A	保健センター
		加須市	○不妊治療費、早期不妊検査費、不育症検査費の助成	○不妊治療費、早期不妊検査費、不育症検査費の助成を実施した（不妊治療費34件（うち妊娠者17件）、早期不妊検査費10件、不育症検査費5件）。	B	健康づくり 推進課
		羽生市	○不妊治療費助成・不妊検査費助成・不育症検査費助成の実施	○不妊治療費助成：17件 ○不妊検査費助成：8件 ○不育症検査費助成：3件	A	健康づくり 推進課
		久喜市	○不妊検査・不育症検査・不妊治療費の助成を行い、妊娠を望む夫婦に対する経済的な負担の軽減を図る。	○不妊検査・不育症検査・不妊治療費の助成を行い、妊娠を望む夫婦に対する経済的な負担の軽減を図った。 不妊検査33件、不育症検査10件、不妊治療75件	A	中央保健センター

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	不妊に関する治療費等への支援や専門相談等の推進	蓮田市	○婚姻届を出した夫婦に対して、不妊検査や不妊治療に関するパンフレットを配布する。 ○要綱に基づく助成対象者に対して、早期不妊検査及び不育症検査費用の助成を行う。 ○埼玉県特定不妊治療費助成金又は埼玉県男性不妊治療費助成金の支給を受けた方に対して、助成金の支給を行う。	○婚姻届を出した夫婦に対して、不妊検査や不妊治療に関するパンフレットを配布した。 ○要綱に基づく助成対象者に対して、早期不妊検査（18組）及び不育症検査費用（1組）の助成を行った。 ○埼玉県特定不妊治療費助成金又は埼玉県男性不妊治療費助成金の支給を受けた方に対して、助成金の支給を行った。（延48件）	A	子ども支援課
		幸手市	○幸手市不妊検査費・不育症検査費・不妊治療費助成事業の実施 ○検査費・治療費助成事業や不妊専門相談の周知	○幸手市不妊検査費7件・不育症検査費0件・不妊治療費17件（延べ30件） ○検査費・治療費助成事業や不妊専門相談の周知をチラシ配布・ポスター掲示・広報掲載により行った	A	健康増進課
		白岡市	○不妊治療費助成事業、不育症検査費・不妊検査費助成事業の実施	○不妊治療費助成・不妊検査費助成事業の実施し、妊娠を望む夫婦に対する経済的な負担の軽減を図った。平成31年4月から不育症検査費助成を開始した。（不妊治療費助成43件、不妊検査費助成14件、不育症検査助成0件）	A	健康増進課
		宮代町	○早期不妊検査・不育症検査費助成（上限2万円）の実施 ○不妊治療費助成（特定不妊治療と男性不妊治療に上限5万円）の実施	○早期不育症検査助成実施人数：1組 ○早期不妊検査助成実施人数：8組 ○不妊治療費助成人数：12組 男性不妊治療費助成は実績なし	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○早期不妊検査費助成事業を実施する。 ○早期不妊治療費助成事業を実施する。 ○不育症検査費助成事業を実施する。	○早期不妊検査費助成事業を実施 10件 ○早期不妊治療費助成事業を実施 6件 ○不育症検査費助成事業を実施 1件	A	健康支援課
		加須保健所	○不妊治療費助成事業の実施	201件（行田市70件、加須市86件、羽生市45件）	A	保健予防 推進担当
		幸手保健所	○不妊治療費助成事業の実施 （特定不妊治療及び男性不妊治療の一部）	不妊治療費助成 延359件	A	保健予防 推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	生後4か月ぐらいまでの乳児の状況把握と育児支援	行田市	○妊娠届によって把握されたすべての妊婦に対して、子育て包括支援センターによる必要な情報の提供や心配事の相談を行い、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を実施する。また、ハイリスク者については、支援プランを作成し、安心安全な出産育児に向けた継続支援を実施する。 ○子育て包括支援センターによる相談、乳児産婦訪問指導、赤ちゃんクラスなどの事業を継続して実施する。 ○支援の必要なケースについては、地区担当保健師による個別対応を実施する。	○妊娠届出数 472件 子育て包括支援センター面接件数333件、電話連絡件数117件 合計450件 支援プラン作成数 22件 ○乳幼児産婦訪問指導件数381件、赤ちゃんクラス年間11回開催・参加者数延べ104組 ○養育支援連絡票ケースや継続支援ケース、支援プラン作成ケースは常勤地区担当保健師が個別対応を実施	A	保健センター
		加須市	○生後4か月児までの児を対象とした全戸訪問事業（乳児家庭訪問事業）を実施し、必要な支援やサービスを提供ができるようにする。 ○訪問した母子のケースには虐待予防のアンケートを3つ（育児チェックシート、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんの気持ち質問票）実施し、母の精神面の把握に努める。 ○育児不安や悩み、子育てに関する支援や情報提供を実施する。	○生後4か月児までの児を対象とした全戸訪問事業（乳児家庭訪問事業）を実施し、必要な支援やサービスを提供した（訪問件数の割合98.9%）。 ○訪問した母子のケースには虐待予防のアンケートを3つ（育児チェックシート、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんの気持ち質問票）実施し、母の精神面の把握に努めた。 ○育児不安や悩み、子育てに関する支援や情報提供を実施した。	A	健康づくり 推進課
		羽生市	○子育て世代包括支援センターによる育児不安や悩み、子育てに関する支援や情報提供を実施する。また妊娠期からの継続支援のため、医療機関との連携を行う。 ○乳児家庭全戸訪問事業を実施し、養育環境や母親の精神面の把握、乳児の発育発達の確認を行う。 ○3か月児健診を実施し、その後必要なケースには継続した支援を行う。	○妊娠届出数（面接件数）287件、うち支援プラン作成件数76件、後期アンケート送付するなど、出産前の心身状況を伺い、安心して出産、育児に臨めるよう電話・訪問等でサポート。 ○乳幼児全戸訪問件数 253件 ○3か月児健診実施数 278人	A	健康づくり 推進課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	生後4か月ぐら いまでの乳児の 状況把握と育児 支援	久喜市	○妊娠届により把握した妊婦に対し、子育て包括支援センターによる妊娠・出産・子育てに関する情報の提供や相談支援を行う。 ○乳児家庭全戸訪問事業を実施し、養育環境や母親の精神面の把握、乳児の発育発達の確認を行う。また、子育て支援に関する情報を提供する。	○各保健センター内に開設している子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠・出産・子育てに関する相談支援を実施した。 ○乳児家庭全戸訪問事業を実施し、養育環境や母親の精神面の把握、乳児の発育発達の確認及び子育て支援に関する情報を提供した。訪問家庭数822	A	中央保健センター
		蓮田市	○こんにちは赤ちゃん訪問において、生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児相談を行う。 ○3～4か月児健診の未受診者に対し、地区担当保健師や母子保健推進員が訪問・電話連絡等を行い虐待や育児不安を早期発見できるように努める。 ○産後うつ病アンケートにより把握したハイリスクの母に対して、継続して支援を行う。	○こんにちは赤ちゃん訪問（延333件実施）において、生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児相談を行った。 ○3～4か月児健診の未受診者に対し、地区担当保健師や母子保健推進員が訪問・電話連絡等を行い虐待や育児不安を早期発見できるように努めた。 ○産後うつ病アンケートにより把握したハイリスクの母に対して、継続して支援を行った。	A	子ども支援課
		幸手市	○乳児家庭全戸訪問事業の実施 ○訪問時の質問紙を活用し、虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努める。 ○産後ケア事業の実施 ○子育て総合窓口における早期からの専門的相談・支援	○生後4か月までの乳児とその家族に対し、母子保健推進員または常勤保健師が訪問。218件訪問（訪問率94.7%） ○訪問時の質問紙は、外国人や明らかな精神疾患のある産婦を除き件実施。EPDSが9点以上の14人については、電話や各種事業でフォローを実施	A	健康増進課
		白岡市	○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、保健師等が生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児支援を行う。また、必要時産後うつ病アンケートにより、母の精神面の把握に努め、育児不安や悩みに対する継続した支援を行う。 ○4か月児健診において、状況を把握し育児支援を行う。また、未受診児の状況把握に努める。 ○状況に応じた保健指導や子育てに関する情報提供を行い、必要なサービスにつなげる。	○平成31年1月から子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠から子育て期にわたり、状況に応じた保健指導や子育てに関する情報提供等を行い、必要なサービスにつなげた。 ○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、保健師等が生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児支援を行った。また、必要時産後うつ病アンケートにより、母の精神面の把握に努め、育児不安や悩みに対する継続した支援を行った。（事業対象訪問数392件） ○4か月児健診において、状況を把握し育児支援を行い、また、未受診児の状況把握に努めた。（受診者数384人 未受診16人全員の状況把握を行った。）	A	健康増進課
		宮代町	○子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠期からの切れ目のない支援の実施 ○生後4か月未満の乳児がいるすべての家庭訪問の実施 ○全ての産婦にEPDSを実施しハイリスク者はケース対応会議での検討実施 ○産後ケア事業の実施	○赤ちゃん訪問実施（236人、面接2人） ○産婦にEPDS実施（238人） ○月1回ケース対応会議の開催（12回実施） ○産後ケア事業を4人に実施	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期からの切れ目のない支援を実施する。 ○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、看護師、保健師等が生後4か月までの乳児と産婦への保健指導を実施する。 ○「すくすく子育てアンケート」「EPDS」（産後のメンタルヘルス質問紙）を活用し虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努める。さらに訪問で把握した情報を3～4か月児健診へつなげ継続した支援を実施する。 ○3～4か月健診未受診児の状況把握に努める。必要により医療機関、子育て支援課と連携を図る。	○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、看護師、保健師、助産師が生後4か月までの乳児と産婦への保健指導を実施。延188件 ○「すくすく子育てアンケート」「EPDS」（産後のメンタルヘルス質問紙）を活用し虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努めた。さらに訪問で把握した情報を3～4か月児健診へつなげ継続した支援を実施した。 ○3～4か月健診未受診児の状況把握に努めた。必要により医療機関、子育て支援課等と連携を図った。	A	健康支援課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	育児支援に重点 をおいた保健指 導の充実	行田市	○赤ちゃんクラスの実施 ○離乳食初期教室・離乳食中期教室・離乳食後期教室の実施 ○10ヶ月児相談の実施	○赤ちゃんクラス年間11回開催・参加者数延べ104組 ○離乳食初期教室11回、参加者数130名 離乳食中期教室6回、参加者数84名 離乳食後期教室5回、参加者数64名 ○10ヶ月児相談11回、来所乳児数395名	A	保健センター
		加須市	○乳幼児期の疾患や発育異常等を早期発見し、親の育児や生活習慣病等に対する相談支援を行う。 ○未受診者の状況把握において、引き続き訪問や電話等で確認支援していく。	○乳幼児期の疾患や発育異常等を早期発見し、親の育児や生活習慣病等に対する相談支援を行った（乳幼児健康診査受診率 3～4か月児健診97.4%、9～10か月児健診93.8%、1歳6か月児健診94.7%、2歳児健診93.7%、3歳児健診91.9%）。 ○未受診者の状況把握において、引き続き訪問や電話等で確認支援していく。	A	健康づくり 推進課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	育児支援に重点をおいた保健指導の充実	羽生市	○乳幼児健康診査の問診等により育児不安や発育発達の状況把握を行い、専門的な相談支援を実施する。	○乳幼児健康診査の問診等により状況把握 3か月児健診278人、10か月児健診314人、18か月児健診321人、3歳児健診330人 必要な支援を実施した	A	健康づくり推進課
		久喜市	○育児環境や家族の健康状態、育児負担等に着眼した問診、相談を実施するとともに、必要に応じ、継続した支援を実施する。	○育児環境や家族の健康状態、育児負担等に着眼した問診、相談を実施するとともに、必要に応じ、継続した支援を実施した。 4か月児健診 対象者857人 受診者825人 受診率96.3% 10か月児健診 対象者939人 受診者884人 受診率94.1% 1歳6か月児健診 対象者1,005人 受診者961人 受診率95.6% 3歳児健診 対象者1,087人 受診者1,048人 受診率96.4%	A	中央保健センター
		蓮田市	○乳幼児健診問診スタッフが事前に要フォロー児の情報を共有し、継続支援が実施できるようにする。 ○図書館職員と協力し、3～4か月児健診においてブックスタート事業を継続して行う。 ○1歳6か月児健診時に、食生活推進員協議会の協力を得て手作りおやつを試食提供をし、市販の菓子類やジュース類の砂糖の量の展示を行い保護者へ食育への関心を持ってもらう。 ○1歳6か月児健診と3歳児健診において心理相談を実施し、臨床心理士・児童ケースワーカー・家庭児童相談員・保健師等による多職種でのフォロー体制を組む。	○健診問診スタッフが事前に要フォロー児の情報を共有し、継続支援が実施できるように努めた。 ○市の図書館職員と協力し3～4か月児健診においてブックスタート事業を実施。（年12回344名実施） ○1歳6か月児健診時に、食生活改善推進員協議会の協力を得て手作りおやつを試食と子どもの食生活に関する支援を行った。（年11回376名実施） ○1歳6か月児健診と3歳児健診において心理相談を実施し、心理士・児童ケースワーカー・家庭児童相談員・保健師による多職種がフォロー体制を組んでいる。（心理相談延101名実施） ○各健診・事業終了後多職種によるカンファレンスの実施	A	子ども支援課
		幸手市	○乳幼児健康診査で受診者全員に個別面接・個別相談を行い、育児不安の軽減や発育発達の確認・助言を行う。 ○必要時専門的な相談・指導ができるよう乳幼児発達相談や臨床心理士によるかるがも相談、子育て総合窓口からの指導を行う。 ○各健診終了後、他職種スタッフによるカンファレンスを実施し、継続フォローの方針を検討する。	○経過を考慮した個別相談ができるよう、健診前にカンファレンスを行い統一した対応ができるよう情報共有。 ○乳幼児健診にて受診者全員に個別面接、個別育児相談を実施。（4か月健診受診者187人、10か月健診受診者187人、1歳6か月健診受診者198人、3歳5か月児健診受診者261人。） ○10か月健診受診者全員に保健師による集団指導を実施。（受診者187人） ○1歳6か月健診、3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し、必要な者へ個別相談を実施。（1歳6か月児健診相談者20人、3歳5か月児健診相談者24人） ○3歳5か月健診で家庭児童相談員を配置し必要な者へ個別相談を実施した。（相談者11人） ○個別相談や心理相談、家庭児童相談から必要時幼児学級・乳幼児発達相談等につなげた。 ○各乳幼児健診終了後に他職種スタッフによるカンファレンスを実施し、継続フォローの方針を検討。（4か月児：10回、10か月健診・1歳6か月児健診11回、3歳5か月児健診12回、合計44回実施。） ○乳幼児健診未受診者に対し、未受診訪問を実施した。（訪問者28人） ○発達に課題がある児に対し、専門職による発達相談を実施した。（12回、延べ112人） ○健やか親子21アンケートから必要な人に2次質問をし、子育ての相談に役立てた。	A	健康増進課
		白岡市	○各健診において、保健師が全ての受診者と個別面接・相談を実施し育児支援を行う。 ○4か月児健診において、離乳食開始に向けた教室の開催 ○10か月児健診において、学び支援課と協働によるブックスタート事業の実施 ○1歳6か月児健診、3歳児健診において、臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施する。 ○健診終了後に多職種によるカンファレンスを実施し、健診時の情報共有を行い、継続フォローの方針を検討する。また、未受診者の状況を把握する。	○各健診において保健師が全ての受診者と個別面接・相談を実施し育児支援を行った。（3月はコロナ対策でフォロー児、希望者のみ相談を実施） ○4か月児健診において、離乳食開始に向けた教室を開催。（3月はコロナ対策で栄養相談に変更して実施） ○10か月児健診において、他課と連携しブックスタート事業を実施 ○1歳6か月児健診、3歳児健診において、臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施（1歳6か月児健診22人、3歳児健診23人） ○健診終了後に多職種によるカンファレンスを実施し、健診時の情報共有を行い、継続フォローの方針を検討した。また、未受診者の状況把握を行った。（健診未受診率 4か月児4%、10か月児5.7%、1歳6か月児0.7%、3歳児4.2%）	B	健康増進課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	育児支援に重点をおいた保健指導の充実	宮代町	○各乳幼児健診におけるグループ支援と個別支援の充実 ○健診後、多職種によるカンファレンスの実施	○各乳幼児健診において第1子の母にはグループ（435人）と個別で育児支援、第2子以降の母には、個別で育児支援を実施。 ○1歳6か月児健診、3歳児健診で希望者に臨床心理士の個別相談を実施（26人） ○健診後はカンファレンスを実施（48回）	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○各健診とも受診者全員と個別面接を実施する。 ○3か月健診にファミリーサポートセンター職員によるサービスの利用勧奨を行う。 ○3か月健診で、赤ちゃんと保護者の方が一緒に絵本を楽しむひとときを持ってもらおうといった子育て支援の取組として町立図書館から絵本を手渡しするブックスタートの場の提供 ○9か月健診時に子育て支援センター職員によるサービスの利用勧奨を行う。 ○1歳6か月児健診、3歳児健診に臨床心理士の個別指導を実施する。 ○3歳児健診時にボランティアの絵本読み聞かせコーナーを設定し、親子で絵本に親しみコミュニケーションを深める支援を実施する。 ○地域における支援が必要な母子については、健診時に希望をとり、子育て支援センターへ個別連携シートを送付して訪問・電話・面接等の支援を依頼する。 ○健診の未受診者について、保健師間で定期的カンファレンスを実施、今後の方向性について協議・情報の共有化を図る。 ○私立保育園に訪問、町立保育園との連携により、未受診者の状況や集団での発達状況を把握する。	○各健診とも受診者全員と個別面接を実施した。 ○3か月健診にファミリーサポートセンター職員によるサービスの利用勧奨を行った。 ○3か月健診で、赤ちゃんと保護者の方が一緒に絵本を楽しむひとときを持ってもらおうといった子育て支援の取組として町立図書館から絵本を手渡しするブックスタートの場の提供をした。 ○9か月健診時に子育て支援センター職員によるサービスの利用勧奨を行った。 ○1歳6か月児健診、3歳児健診に臨床心理士の個別指導を実施した。 ○3歳児健診時にボランティアの絵本読み聞かせコーナーを設定し、親子で絵本に親しみコミュニケーションを深める支援を実施した。 ○地域における支援が必要な母子については、健診時に希望をとり、子育て支援センターへ個別連携シートを送付して訪問・電話・面接等の支援を依頼した。 ○健診の未受診者について、保健師間で定期的カンファレンスを実施、今後の方向性について協議・情報の共有化を図った。 ○私立保育園に訪問、町立保育園との連携により、未受診者の状況や集団での発達状況を把握した。	A	健康支援課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	子供の心の健康に関する相談や情報提供の充実	行田市	○心理発達相談の実施 ○乳幼児相談の実施	○心理発達相談11回、実利用者数16名 延べ利用者数 22名 ○乳幼児相談11回 相談者数39人	A	保健センター
		加須市	○乳幼児健診や乳幼児健康相談で、乳幼児及びその養育者に対し、安心して育児ができるよう子どもの心の健康に関する相談や情報提供を行い、健全な発育発達を促す支援を図る。 ○子育てに関する指導・助言を実施し、必要な方には訪問や電話にて相談や情報提供を実施する。	○乳幼児健診や乳幼児健康相談で、乳幼児及びその養育者に対し、安心して育児ができるよう子どもの心の健康に関する相談や情報提供を行い、健全な発育発達を促す支援をした（乳幼児健康診査受診率 3~4か月児健診97.4%、9~10か月児健診93.8%、1歳6か月児健診94.7%、2歳児健診93.7%、3歳児健診91.9% 乳幼児健康相談参加者延べ人数541人）。 ○子育てに関する指導・助言を実施し、必要な方には訪問や電話にて相談や情報提供を実施する。	A	健康づくり推進課
		羽生市	○乳幼児健診や訪問・相談事業等において、子供の心の健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等と連携し、必要な支援を行う。 ○幼保への臨床心理士による巡回相談の継続	○保健所での相談窓口の紹介 ○市内幼保に臨床心理士が巡回訪問	A	健康づくり推進課
		久喜市	○乳幼児健診や訪問、相談事業等において、子どものこころの健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、必要な支援を行う。	○乳幼児健診や訪問、相談事業等において、子どものこころの健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、必要な支援を行った。	A	中央保健センター
		蓮田市	○18歳未満の子どもの心の健康問題に対し、関係機関と連絡を取り支援していく。 ○保健所が実施する心に関する事業の情報提供をする。 ○各乳幼児健診、乳幼児相談において個別相談の実施をする。 ○1歳6か月児健診・3歳児健診時に心理相談を実施する。	○18歳未満の子どもの心の問題に対して、関係機関と連携をとり支援した。 ○保健所で実施する心に関する事業の情報提供 ○各種乳幼児健診や乳幼児相談において、個別相談を実施	A	子ども支援課
		幸手市	○臨床心理士による相談を実施 ○各健診受診者全員と個別面接、個別相談を実施 ○1歳6か月児と3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施 ○3歳5か月児健診で家庭児童相談員を配置し必要時、個別相談を実施 ○子育て総合窓口における専門的随時相談	○臨床心理士による相談（かるがも相談）12回 延べ20人 ○各種健診にて保健師等が受診者に面談を実施した。 ○幼児健診にて臨床心理士による個別相談1歳6か月児健診20人、3歳5か月児健診24人 ○子育て総合窓口にて助産師による相談を実施528人	A	健康増進課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	子供の心の健康に関する相談や情報提供の充実	白岡市	○健診や相談事業等において、保健師による個別相談のほか必要時臨床心理士による心理相談の実施 ○状況に応じて保護者に療育支援先の情報提供を行い関係機関と連携する。	○健診や相談事業等において、保健師による個別相談のほか必要時臨床心理士による心理相談を実施（フォロー相談 24回94人）した。 ○状況に応じて保護者に療育支援先の情報提供等を行い関係機関と連携した。	A	健康増進課
			○当課及び関係機関で実施している教育相談に係る情報を通知やHPで提供 ○市内の学校へ相談員を配置	○県の相談窓口の案内を掲載している。 ○小学校6校、中学校4校に相談員を配置した。	A	教育指導課
		宮代町	○臨床心理士による心理相談の実施 ○健康相談において、個別相談の実施	○臨床心理士による心理相談の実施（36回延98人） ○各乳幼児健診における個別相談の実施	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○発達支援事業：発達の遅れや偏り、生活上の支障が生じている親と子の相談として、臨床心理士による個別に子育て相談を実施、保護者の育児不安等の軽減を図る。 ○幼児健診等において、必要があるケース、希望のあるケースについては臨床心理士の個別相談を実施する。	○発達支援事業：発達の遅れや偏り、生活上の支障が生じている親と子の相談として、臨床心理士による個別に子育て相談を実施した。（延べ83人） ○幼児健診等において、必要があるケース、希望のあるケースについては臨床心理士の個別相談を実施した。	A	健康支援課
		加須保健所	○子どもの心の健康相談の実施。 ○子どもの心のネットワーク事業における会議、研修会の実施。	子どもの心の健康相談 11名 小児精神医療推進連絡会議・研修会（10/16 40名）	A	保健予防 推進担当
		幸手保健所	○子どもの心の健康相談の実施と会議・研修等の実施により連携強化と資質向上を図る。	○子どもの心の健康相談の実施（19回、相談者：実19人延30人） ○小児精神保健医療推進連絡会議・研修会の実施（11/26 40人）	A	保健予防 推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	関係機関の連携強化による子育て支援	行田市	○子育て包括支援センターとして、市内及び隣接した産婦人科と連携を図り、切れ目のない支援をつなげる。 ○要保護児童対策地域協議会へケースの提供及び同会議に出席し、関係機関との連携と支援を行う。 ○ハイリスクケースに対しては引き続き、児童福祉担当、生活保護担当、児童相談所、民生委員、医療機関など必要に応じた機関と連携し支援を行う。	○養育支援連絡票や電話連絡等により、産婦人科医院から早期に支援が必要な方の連絡を相互に行い、連携を図った。 ○要保護児童対策地域協議会へ出席し、関係機関との連携及び支援を行った。 ○ハイリスクケースに対しては引き続き、児童福祉担当、生活保護担当、児童相談所、民生委員、医療機関など必要に応じた機関と連携し支援を行った。	A	保健センター
			加須市	○虐待ケースについて、関係機関で実施する児童虐待ケース会議に参加し、対応する。 ○児童虐待防止等ネットワーク実務者会議へ参加し、各機関との連携を図る。 ○保健センター内の育児掲示板の活用をし、子育て情報の提供をする。	○虐待ケースについて、関係機関で実施する児童虐待ケース会議に参加し、対応した。 ○児童虐待防止等ネットワーク実務者会議へ参加した。 ○保健センター内の育児掲示板の活用をし、子育て情報の提供をした。	A
		○市内小児科専門医の協力を得て、4月から10月の祝日及び11月から3月の日曜日、祝日、年末年始における小児科診療を実施する。		○市内小児科専門医の協力を得て、4月から10月の祝日と11月から3月の日曜日、祝日、年末年始（1月1日を除く）における小児科診療を実施した。（実施日43日）	A	医療体制 推進課
		羽生市	○子育て世代包括支援センターを中心に、市内幼保や医療機関、子育て関係機関や他市町村と連携協力し、対象者の支援を行う。	○子育て世代包括支援センターを中心に、市内幼保や医療機関、庁内関係課や他市町村と連携協力し、対象者の支援を行った。	A	健康づくり 推進課
		久喜市	○要保護児童対策地域協議会に参加。 ○ハイリスク家庭に対し、児童福祉部門や保健所、医療機関等の関係機関と連携し支援を行う。	○要保護児童対策地域協議会に参加・活用した。 ○ハイリスク家庭に対し、児童福祉部門や保健所、医療機関等の関係機関と連携し支援を行った。	A	中央保健 センター
		蓮田市	○支援が必要な母子に対し、保健所や多職種と連携を図り対応する。必要時ケース会議を実施し情報共有と支援の連携を図る。 ○要保護児童対策地域協議会（代表者会議及び実務者会議）を実施する。 ○就学支援委員会へ出席する。 ○蓮田市母子愛育会と連携を図り支援する。	○支援が必要な母子に対し、児相や保健所、他職種との同行訪問を実施し、必要時ケース会議を開催し情報共有と支援の連携を図る。 ○要保護児童対策地域協議会（代表者会議及び実務者会議）を開催 ○就学支援委員会へ出席 ○蓮田市母子愛育会との連携と支援	A	子ども支援課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	関係機関の連携強化による子育て支援	幸手市	<ul style="list-style-type: none"> ○要保護児童対策地域協議会との連携 ○幸手市母子愛育会との連携 ○就学支援委員会に参加 ○妊娠期から子育て支援が行われるよう、子育て総合窓口を委託している幸手地区助産師会が市内医療機関等関係機関や関係団体によびかけ、研修会を実施 ○子ども支援課主催の幼児学級への保健師の参加と情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ○要保護児童対策協議会の開催（代表者会議1回、実務者会議12回、個別ケース会議3回） ○幸手市母子愛育会事業による保健事業協力（5回）命の大切さ事業（市内小学校9校） ○子育て総合窓口が主催する研修会の開催（2回） ○幼児学級へ協力参加（19回） 	A	健康増進課
		白岡市	<ul style="list-style-type: none"> ○母子愛育会との連携と支援 ○小中学校就学支援委員会に参加 ○要保護児童対策地域協議会に参加 ○就学支援にむけた情報交換会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○母子愛育会と連携した事業の実施や、幼児教室への協力等支援を行った。 ○小中学校就学支援委員会に参加（4回）。 ○要保護児童対策地域協議会に参加（4回）。 ○就学支援にむけた情報交換会を実施（1回）。 	A	健康増進課
			<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校就学支援委員会を実施し、関係者を委員に委嘱 ○要保護児童対策地域協議会に参加 ○就学相談での情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ○就学支援委員会では、医師、地域の特別支援学校、健康増進課、福祉課、各学校関係者に委員を委嘱した。 ○要保護児童対策地域協議会に参加し、警察や児童相談所とも連携することができた。 ○就学相談では、保護者の同意を得て、市の関係課や保育所等と連携し、情報の共有化を図った。 	A	教育指導課
		宮代町	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援課との連携強化 ○要保護児童対策協議会への出席 ○教育委員会の就学相談と連携、就学支援委員会に参加 ○「障害のあるお子さんの情報交換会」に就学相談担当者の出席依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援課と月1回ケース対応会議の開催 ○要保護児童対策地域連絡協議会に参加（代表者会議、実務者会議4回） ○就学支援委員会に参加（3回） ○障害のあるお子さんの情報交換会に就学相談担当者の出席依頼 	A	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> ○杉戸町母子愛育会との連携強化を図る。 ○子育て支援センターとの共同事業を活用し連携を強化するとともに、個別支援の方向性の共有を図る。 ○養育支援を必要とする家庭について要保護児童対策地域協議会との連携を図り必要な支援を実施する。 ○未熟児のフォローについては、未熟児養育医療費申請時の面接、子育て支援課及び医療機関との連携を図り、入院中からハイリスク児や養育支援家庭等への支援を実施する。 ○私立保育園について、保健師が保育園を訪問して園児の様子を把握、発達状況、家庭環境等の情報の共有化を図る。 ○町立保育園では、随時ケースについて電話等で情報の共有、連携・調整を図る。 ○教育委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健全発達支援相談指導事業の言語相談、心理相談で実施した発達検査等を保護者の同意のもと、就学にむけて情報提供。 ・各種教育相談窓口、就学相談等の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○杉戸町母子愛育会との連携強化を図った。 ○子育て支援センターとの共同事業を活用し連携を強化するとともに、個別支援の方向性の共有を図った。 ○養育支援を必要とする家庭について要保護児童対策地域協議会との連携を図り必要な支援を実施した。 ○未熟児のフォローについては、未熟児養育医療費申請時の面接、子育て支援課及び医療機関との連携を図り、入院中からハイリスク児や養育支援家庭等への支援を実施した。 ○私立保育園について、保健師が保育園を訪問して園児の様子を把握、発達状況、家庭環境等の情報の共有化を図った。 ○町立保育園では、随時ケースについて電話等で情報の共有、連携・調整を図った。 ○教育委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健全発達支援相談指導事業の言語相談、心理相談で実施した発達検査等を保護者の同意のもと、就学にむけて情報提供。 ・各種教育相談窓口、就学相談等の情報提供 	A	健康支援課
		加須保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠期からの虐待予防強化事業により、医療機関と地域保健機関との連絡会、事例検討会の実施。 	連絡会（2/21 17名） 事例検討会（11/14, 12/20, 2/25 17名）	A	保健予防 推進担当
		幸手保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○母子保健連携調整会議、小児精神保健医療推進連絡会議、小児精神保健医療研修会、母子保健関連の研修会（事例検討会を含む）等の実施により医療・保健・福祉・教育機関等の連携強化を図る。 ○要保護児童対策地域協議会等への出席 	<ul style="list-style-type: none"> ○母子保健連携調整会議の実施（5/30、3月紙面） ○小児精神保健医療推進連絡会議・研修会の実施（11/26 40人） ○ふれあい親子支援事業研修会の実施（1/29 38人） ○管内自立支援協議会への参画 延6回 ○要保護児童対策地域協議会への出席（延25回、事例検討会議延3回） 	A	保健予防 推進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	評価	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	行田市	○市報、ホームページの掲載 ○乳児産婦全戸訪問事業において「子どもの救急ミニガイドブック」を配布し、啓発する。	○市ホームページに埼玉県小児救急電話相談「#8000」を掲載し、またホームページ及び市報に休日急患診療（内科、小児科、外科）について掲載した。 ○乳児産婦全戸訪問事業において「子どもの救急ミニガイドブック」を配布し、説明を行った。	A	保健センター
		加須市	○乳児家庭訪問事業や乳幼児健診等の保健事業の中で、かかりつけ医や急病時の知識の普及に努める。（チラシ配布）	○乳児家庭訪問事業や乳幼児健診等の保健事業の中でチラシを配布して、かかりつけ医や急病時の知識の普及に努めた。	A	健康づくり推進課
			○小児科医による救急講座・子育て相談を開催し、受診が必要な症状等について啓発する。 ○広報紙やホームページへの掲載、チラシの配布などによって啓発する。	○市内の小児科専門医を講師に招いて、市内4地域で子どもの救急講座・子育て相談を開催し、子育て中の保護者等がもしもの時の対応について学習した。（4回開催、参加者304人） ○小児医療に関するチラシを作成し、市民への周知を図った。	B	医療体制推進課
		羽生市	○広報誌やホームページでの休日当番医、埼玉県小児救急電話相談、埼玉県A I 救急相談の情報提供 ○埼玉県救急電話相談の情報を掲載したシールの配布 ○乳幼児健診での「子どもの救急ミニガイドブック」の配布 ○小児科医による小児救急に関する講話	○広報誌やホームページでの休日当番医、埼玉県小児救急電話相談、埼玉県大人の救急電話相談等の情報提供 ○埼玉県救急電話相談の情報を掲載したポケットティッシュの配布 ○乳幼児健診での「子どもの救急ミニガイドブック」の配布 ○小児科医による小児救急に関する講話（1回、14人）	A	健康づくり推進課
		久喜市	○子ども医療費及びひとり親家庭等医療費の受給資格証に、平日の診療時間内での受診を促す文章を表記する。	○子ども医療費及びひとり親家庭等医療費の受給資格証に、平日の診療時間内での受診を促す文章を表記した。	A	子ども未来課
			○市広報・市ホームページ等による情報提供を実施するとともに、就学児健康診断実施の際に啓発を図る。 ○市広報・市ホームページを活用して、救急電話相談#7119の利用について周知を図る。	○市広報紙・ホームページを活用して、救急電話相談#7119の利用について周知を図った。 ○就学時健康診断時において、保護者に対し#7119についてのカードを配布し、啓発を行った。	A	健康医療課
		蓮田市	○母子健康手帳交付時に「子どものミニ救急ガイドブック」の配布をする。 ○健康カレンダーや子育てガイドブックに小児救急電話番号、#8000、救急医療情報、休日急患診療などの情報を掲載する。 ○乳幼児健診で、事故防止パンフレットの配布。	○母子健康手帳交付時に「子どものミニ救急ガイドブック」を説明して、372名に配布し、早期知識の普及に努めた。 ○健康カレンダーや子育てガイドブックに小児救急電話番号、#7199、救急医療情報、休日急患診療等の情報を掲載。 ○乳幼児健診で、事故防止パンフレットを348名に配布。	A	子ども支援課
		幸手市	○広報紙、ホームページ、健康環境カレンダーにより情報提供を図る。 ○乳幼児家庭全戸訪問事業における訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」を配布 ○パパママ教室同窓会（ほっとサロン）、10か月児健診、母子健康教育（集まれ6～7か月ベビー）時に、事故防止と上手なお医者さんのかかり方について指導を行う。	○広報紙、ホームページ、健康環境カレンダーにより情報提供を図った ○乳幼児家庭全戸訪問事業における訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」を配布した（218人） ○パパママほっとサロン（4回、延べ30組）、10か月児健診、母子健康教育（集まれ6～7か月ベビー）時（6回、88組）に、事故防止と上手なお医者さんのかかり方について指導を行った ○乳幼児家庭全戸訪問事業（218件）と乳児健診時に救急電話相談等のリーフレットを配布（延べ833人）	A	健康増進課
		白岡市	○広報紙、ホームページ、保健センター事業等予定表に急な病気やけがで困ったときの相談窓口等の情報提供を行う。 ○赤ちゃん訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」等を配布し、適正受診についての啓発を行う。 ○市内幼稚園において小児救急啓発事業を行う。	○広報紙、ホームページ、保健センター事業等予定表に急な病気やけがで困ったときの相談窓口等の情報提供を行った。 ○赤ちゃん訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」等を配布し、適正受診についての啓発した。（赤ちゃん訪問389件） ○ファミリーサポートセンター基礎研修会にて「小児看護の基礎知識」の講義をファミリーサポート協力会員6名と東児童館職員5名の計11名に行った。	B	健康増進課
		宮代町	○赤ちゃん訪問等でパンフレット「子どもの救急ミニガイドブック」の配布による啓発 ○掲載した保健センターガイドを全世帯に配布	○赤ちゃん訪問・面接時にパンフレットの配布（238人） ○掲載した保健センターガイドを全世帯に配布	A	健康介護課 健康増進担当
杉戸町	○ママパパ教室やこんにちは赤ちゃん訪問時に、「上手なお医者さんのかかり方」について保健指導を実施する。 ○小児救急電話相談「#8000」や埼玉県救急医療情報センターのシステム及び小児休日診療の啓発を行う。（保健センター年間計画表・広報等への掲載・赤ちゃん訪問時） ○冬季に実施している小児休日診療については、乳幼児健診時・訪問時などにチラシを配布するとともに、各医療機関・公共施設にポスター掲示またはチラシを設置し、周知を図る。	○ママパパ教室やこんにちは赤ちゃん訪問時に、「上手なお医者さんのかかり方」について保健指導を実施した。 ○小児救急電話相談「#8000」や埼玉県救急医療情報センターのシステム及び小児休日診療の啓発を行った。（保健センター年間計画表・広報等への掲載・赤ちゃん訪問時） ○冬季に実施している小児休日診療については、乳幼児健診時・訪問時などにチラシを配布するとともに、各医療機関・公共施設にポスター掲示またはチラシを設置し、周知を図った。	A	健康支援課		